令和５年度

山口県学力定着状況確認問題

結果について

令和５年１２月

山口県教育庁義務教育課

目　　次

Ⅰ　実施概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　　１

Ⅱ　教科の問題に関する結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　　２
　１　結果概要
　（１）平均正答率・・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
　（２）教科の問題結果から見られる特徴・・・・P 2

　２　小学校
　（１）国語　・・・・・・・・・P 3
　（２）算数　・・・・・・・・・P 7

　３　中学校
　（１）国語　・・・・・・・・・P11
　（２）数学　・・・・・・・・・P15
　（３）英語　・・・・・・・・・P19

　４　設問別正答率一覧　・・・・・P23

Ⅲ　児童生徒質問紙調査の結果　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　３２

Ⅰ　実施概要

１　目　的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。さらに、ＣＢＴで実施することにより、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力、デジタル読解力等の資質・能力の育成を図る。

２　実施期日

令和５年１０月１６日（月）から１０月１８日（水）小学６年、中学２年
令和５年１０月１８日（水）から１０月２０日（金）小学５年、中学１年
※　学校の実情に応じて、各期間で実施することとし、一日の実施教科数、実施教科の順序等は、各学校が定める。

３　実施内容

（１）実施対象等

学　年		実施人数	内　容（時　間）
小学校	第５学年	９，９３７人	国語、算数(各 40 分)及び質問紙
	第６学年	１０，０４４人	国語、算数(各 40 分)及び質問紙
中学校	第１学年	９，８０２人	国語、数学(各 45 分)及び質問紙
	第２学年	９，３３１人	国語、数学、英語(各 45 分)及び質問紙

（２）教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題を一定の割合で出題する。
①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題
②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題
○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

（３）質問紙について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

【データの処理について】

○各学年の実施人数について
・各学年の実施人数は、教科の問題及び質問紙を実施した児童生徒数の最大値を示している。
○平均正答率の算出方法について
・各教科の平均正答率は、問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。
・学校の教育課程上の理由等により一部の問題を実施していない児童生徒についても、全体に含めて算出している。

Ⅱ　教科の問題に関する結果

1　結果概要

（１）平均正答率

①小学校

	国　語	算　数
第５学年	５１．８％	５４．２％
第６学年	６１．９％	５５．６％

②中学校

	国　語	数　学	英　語
第１学年	５７．０％	５７．０％	
第２学年	６４．１％	５４．６％	４８．６％

（２）教科の問題結果から見られる特徴

◇　基礎的・基本的な内容を問う問題については、一定程度、成果や改善傾向が見られる。
◆　基礎的・基本的な内容を活用して具体的な場面について考察する問題や記述式の問題に依然として課題が見られる。

		主な成果	主な課題
小学校	国語	◇文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめること ◇図や写真などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること	◆文中における被修飾語、主語を捉えること ◆目的や意図に応じて、取材内容をもとにして自分の考えをまとめること ◆指示する語句の役割を理解しながら読むこと
	算数	◇伴って変わる二つの数量の変化や特徴を捉え、その答えを求めること ◇基準量と比較量をもとに、割合を求めること	◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断、表現すること ◆目的に応じたデータを二つの観点から、分類整理すること
中学校	国語	◇案内状の適切な書き方を理解すること ◇司会の役割を果たしながら話し合うこと	◆表現の技法について理解すること ◆短歌の区切れについて理解すること ◆文の構成を理解すること
	数学	◇線対称な図形について、対象の軸の本数を求めること ◇投影図を理解すること	◆投影図から立体の表面積について理解すること ◆日常の場面で、最大公約数を活用すること ◆垂線の作図方法を理解すること
	英語	◇日常的な話題について、情報を正確に聞き取り、適切に応答すること ◇基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うこと	◆文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと ◆聞いて把握した内容について、適切なアドバイスを書くこと

２　小学校

（１）　国語

①　平均正答率、正答分布など

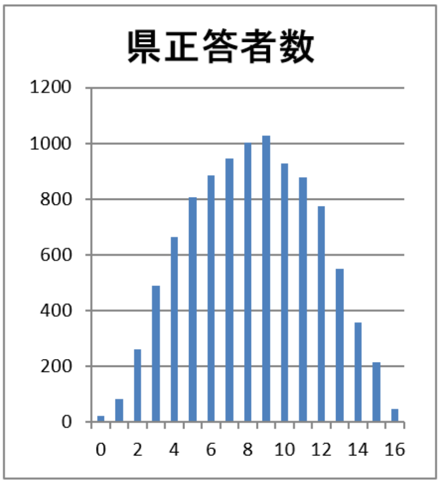
【第５学年】

実施児童数	9,937　人
設問数	16　問
平均正答率	51.8　％

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		7	51.0
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	3	56.6
		書くこと	2	35.1
		読むこと	4	57.8
評価の観点	知識・技能		7	51.0
	思考・判断・表現		9	52.4
問題形式	選択式		15	54.0
	短答式			
	記述式		1	19.0

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



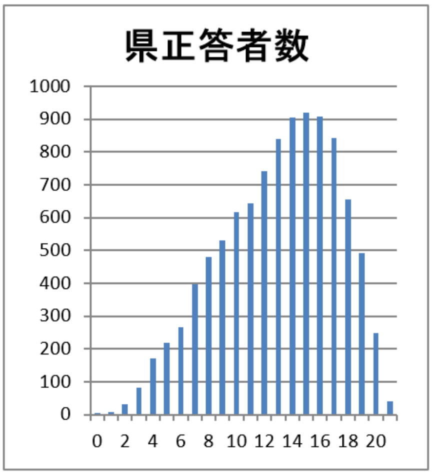
【第６学年】

実施児童数	10,042　人
設問数	21　問
平均正答率	61.9　％

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		10	61.7
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	4	67.4
		書くこと	4	59.9
		読むこと	3	57.5
評価の観点	知識・技能		10	61.7
	思考・判断・表現		11	62.0
問題形式	選択式		19	65.7
	短答式		1	11.7
	記述式		1	39.6

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



② 具体的な問題と解答状況 －小学校第５・６学年 国語－

〇課題とみられていた問題で改善傾向にある問題

> 〇 「文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめること」について、令和５年度全国学力・学習状況調査の正答率が 56.2%（全国）、57.6%（山口県）であったが、改善傾向がみられる。

第５学年 1 （５）

川村さんは，【博物館のリーフレット（一部）】と【川村さんが見付けた文章】を読み，リーフレットのくふうについて分かったことをまとめました。リーフレットのくふうについて分かったこととして最も適切な文章を，次の中から一つ選びましょう。

【博物館のリーフレット（一部）】

【川村さんが見つけた文章】

必要な情報（じょうほう）を知らせるリーフレット

リーフレットとは，１まいの紙を半分に折ったり，３つに折ったりしてページに分け，情報を見やすく表した印刷物①です。

折り方によってページ数が４ページや６ページなどになります。ページごとに，絵や写真，短い文章を使って情報を分かりやすく整理しているので，情報がすぐに分かります。また，１まいの紙でできているので手軽に持ち運べ，それを見ながら行動できるというよさもあります。

例えば，ペットショップのリーフレットでは，犬のページ，ねこのページなど，動物ごとにページがわけられているものがあります。また，美術館（びじゅつかん）のリーフレットでは，テーマについて理かいが深まるようにまわる順番が分かるように作られているものがあります。さらに，ショッピングセンターのリーフレットは，見開きの広いスペースに案内マップをのせて，お店を見つけやすいように作られているものがあります。

このように，リーフレットは，見る人に分かりやすく案内するためにくふうされた印刷物です。みなさん，ぜひ，きかい②があればリーフレットを使ってみてください。

- ペットショップや美術館のリーフレットが分かりやすかったので，遊園地のリーフレットも作ってほしいです。
- リーフレットは，ページごとに情報が整理されており，どのようなことを書くかを考えたいです。
- リーフレットは，１まいの紙を半分に折ったり３つに折ったりして作られており，見出しや説明をくふうしています。
- リーフレットは１まいの紙でできているので手軽に持ち運べますが，情報が不十分なことがあります。

【正答】 1 （５） リーフレットは，１まいの紙を半分に折ったり３つに折ったりして作られており，見出しや説明をくふうしています。

【正答率】 72.6%

【誤答類型】

- ペットショップや美術館のリーフレットが分かりやすかったので，遊園地のリーフレットも作ってほしいです。…4.9%
- リーフレットは，ページごとに情報が整理されており，どのようなことを書くかを考えたいです。…18.9%
- リーフレットは１まいの紙でできているので手軽に持ち運べますが，情報が不十分なことがあります。…3.3%
- 無答…0.4%

●課題のみられる問題

●　「文中における被修飾語、主語を捉えること」について、課題が見られる。

第５学年 2 （２）下の**【インタビューの様子】**の____部Ｂ「力強く」がくわしく説明している言葉として最も適切なものを，次の中から一つ選びましょう。

・ビオラの花　・さく　・すがた　・勇気づけられます

（３）下の**【インタビューの様子】**の____部Ｃ「続けていきます」の主語として最も適切なものを，次の中から一つ選びましょう。

・これからも　・わたしたちは　・公園に　・世話を

【インタビューの様子】

（前略）

川田　もともと花が好きということがあります。たとえば，小さなビオラの花が，寒さの中でも力強く(B)けなげにさくすがたには，勇気づけられます。でも，一番の理由は，やはり喜んでくれる人がいるからですね。「きれいだね。」と言っている人たちを見ると，がんばってよかったなと思います。

遠山　そうそう。花を見ることで，やさしい気持ちになったり，うれしくなったりと，多くの人に喜んでもらえる空間づくりができれば，これほどうれしいことはありません。だから，これからもわたしたちは，花いっぱいの公園になるように，世話を続けていきます(C)。

（後略）

【正答】 2 （２）さく　（３）わたしたちは
【正答率】 （２）31.7%　（３）27.4%

【誤答類型】

（２）・ビオラの花…27.5%　・すがた…11.8%
・勇気づけられます…31.7%　・無答…0.3%

（３）・これからも…30.2%　・公園に…3.3%
・世話を…38.7%　・無答…0.4%

結果を踏まえて　**【誤答の状況とそれに応じた解決の方法】**

（２）に対する特徴的な誤答

〇「力強く」は、「勇気づけられます」をくわしく説明しています。

→「力強く」が、「どのように」ということについて説明する修飾語であり、物事の状態を表す言葉に係ることは捉えているが、文中のどの言葉に係るのかを捉えることはできていない。

（３）に対する特徴的な誤答

〇「続けていきます」の主語は、「世話を」です。

→「世話を」や「これからも」という言葉も、「続けていきます」に係る言葉であることは捉えているが、主語と述語の関係で文の構成を捉えることができていない。

このような誤答の子どもは…

言葉の働きや言葉と言葉との関係を感覚的には捉えることができているが、**主語ー述語、修飾語ー被修飾語の関係で文を正確に理解することに課題**がある。

課題解決に向けて

【課題解決に役立つやまぐちっ子学習プリント】

小学校２年　ことば２（ことばの使い方）ステップ１、２、４
小学校３年　ことば２（修飾語）ステップ１～４

【授業改善の方策】

〇自分の書いたものが、読み手に伝わる適切な表現になっているか見直すことを習慣付ける。

〈見直す際の視点〉

□主語が省略されていないか　□主語と述語は適切な関係か
□修飾語は修飾したい言葉に適切に係っているか　など

・主語‐述語、修飾語‐被修飾語という言葉の関係を正しく捉えることは、**正確な理解と適切な表現**に欠かせない。誤答の状況から、表現する際も感覚的に言葉を使っていることが推測される。
・書き言葉は、話し言葉とは異なりすぐに読み手の反応が得られないという特徴がある。このことから、**書いたものを読み手になったつもりで見直す**ことが、より**読み手に伝わる適切な表現にしていく**ために欠かせない。
・見直しをする中で、**主語や述語の役割、修飾語のよさ等を意識**するようになり、文中の主語ー述語、修飾語ー被修飾語の関係が正しく捉えられるようになると考えられる。

【学校・家庭・地域との連携】

読み手を想定して見直したものが、**本当に読み手に伝わる適切な表現になったのかを評価**する場として、家族や地域の人が子どもの書いたものを読む活動が考えられる。

（２） 算数

① 平均正答率、正答分布など

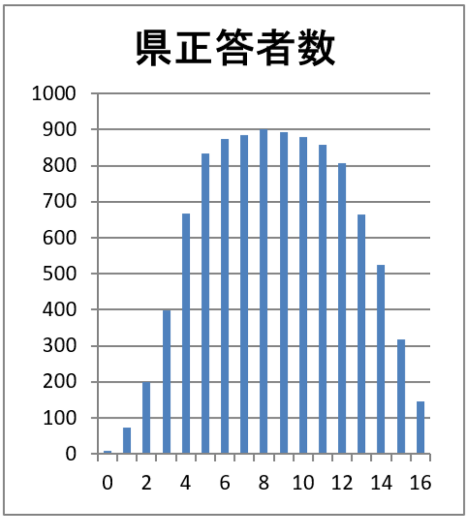
【第５学年】

実施児童数	9,935　人
設問数	16　問
平均正答率	54.2　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	4	53.2
	図形	4	56.6
	測定・変化と関係	5	60.2
	データの活用	3	42.5
評価の観点	知識・技能	7	57.6
	思考・判断・表現	9	51.6
問題形式	選択式	13	56.8
	短答式	2	47.9
	記述式	1	33.7

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



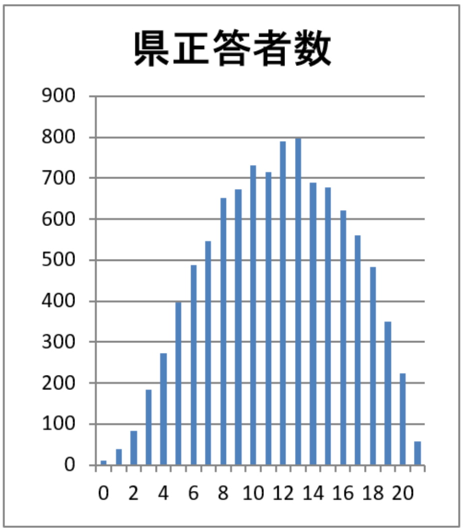
【第６学年】

実施児童数	10,044　人
設問数	21　問
平均正答率	55.6　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	9	59.9
	図形	5	45.9
	測定・変化と関係	5	57.7
	データの活用	2	55.0
評価の観点	知識・技能	13	60.8
	思考・判断・表現	8	47.0
問題形式	選択式	13	59.2
	短答式	7	53.3
	記述式	1	23.7

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



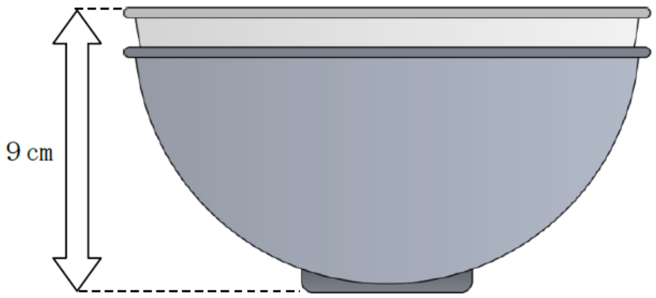
② 具体的な問題と解答状況 －小学校第５・６学年 算数－

〇相当数の児童ができている問題

〇 「伴って変わる二つの数量の変化や特徴を捉え、その答えを求めること」について、正答率が高い。

第５学年 2 （１）

2 給食で使った器を下の図のように重ねます。器はすべて同じ大きさで，高さは８ｃｍです。２枚の器を重ねたとき，高さが９ｃｍになりました。



器の枚数と高さの関係をまとめると次の表のようになります。あとの（1），（2）の問いに答えなさい。

器の枚数（枚）	1	2	3	4	5
高さ（ｃｍ）	8	9	１０		

（1） 器の枚数が５枚のとき，全体の高さは何ｃｍか答えましょう。

【正答】 2 （１） 12
【正答率】 82.5 ％

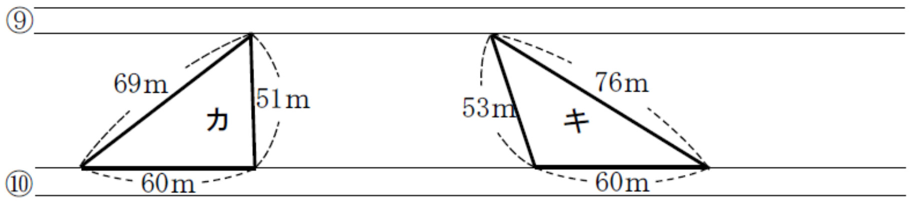
【誤答類型】13…4.9％ 45…2.6％ 40…1.7％ その他…7.8％ 無答…0.5％

●課題のみられる問題

●　「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断、表現すること」について、課題が見られる。

第６学年　5　（４）

（4）　次の地図も，あいこさんの町を表しています。



道路⑨，⑩はそれぞれ平行です。

カとキの土地の面積について，どのようなことがわかりますか。次の中から１つ選び、A～Dの中から１つ選び、記号で答えましょう。
また，それを選んだ理由を，言葉や数を使って答えましょう。

A　カの面積のほうが大きい。

B　キの面積のほうが大きい。

C　カとキの面積は等しい。

D　カとキの面積は，このままでは比べることができない。

【正答例】　5　（４）
記　号　C
記述例
　三角形の面積は，底辺×高さ÷２で求めることができます。カとキの底辺は，どちらも６０mだから等しいです。カとキの高さは平行な道路⑨と道路⑩の間のはばなので，同じ長さで等しいです。だから，カとキの面積は等しいです。
【正答率】　23.7　%

【誤答類型】Ａ…5.2%　　Ｂ…21.9%　Ｃ（理由が誤答）…18.0%
　　　　　　Ｄ…15.6%　　その他…15.7%

結果を踏まえて　**【誤答の状況とそれに応じた解決の方法】**

特徴的な誤答

○B　キの面積のほうが大きい。

→カとキの三角形の底辺の 60mが等しいことは捉えられているが、高さについての理解ができていない。そのため、なんとなく高さに見える 51mと 53m、あるいは 69mと 76mで比較した。

○C　理由が答えられていない。
【主な記述式の誤答】
①三角形と三角形の底辺の長さが等しいことを表す言葉や数が書かれていない。
②三角形と三角形の高さが等しいことを表す言葉が書かれていない。
③三角形の底辺が等しいことと、平行な直線の幅にあたる三角形の高さが等しいとわかっているが、高さを 51mと見誤っている。

→カとキの三角形の面積が等しいことの判断はできるが、言葉や数を使って理由を説明することができない。

このような誤答の子どもは…

二つの三角形の面積を比較するため、底辺と高さを確認しなければならないことは捉えていることから、**二つの平行線に対して垂直にとった幅はすべて等しくなることや、三角形の底辺と高さの関係への理解に課題**があると考えられる。また、三角形の高さは、三角形の頂点から底辺に垂直に引いた直線の長さであるという理解に課題があると考えられる。

課題解決に向けて

【課題解決に役立つやまぐちっ子学習プリント】
小学校５年　やまぐちっ子学習プリント　面積ステップ４

【授業改善の方策】

①図形の面積の公式を理解し、活用できるようにすることが大切である。また、平行な二つの直線の幅はどこも等しいことを捉えることも大切である。

（例）面積の公式の意味や平行と垂直の関係を理解することで、**高さと底辺の関係性が捉えられることから、面積と高さか底辺が分かれば、**面積を求める公式を活用して、高さや底辺を求められることが理解できる。

②二つの平行線に接する底辺が等しい三角形は、面積が等しくなることを説明するために、底辺と高さの関係に視点をおくことから、**図形の構成要素や平行の性質を明確にもたせる**ことが大切である。

（例）底辺が等しい三角形について、高さと面積の関係を基に説明する目的で、底辺と高さ、平行と垂直の関係を捉えることから、目的に応じた論理的な思考が分かる。

【学校・家庭・地域との連携】

学習内容と生活を関連付けて考えることは、多くの情報が溢れている実社会において重要な力であることから、算数科だけでなく、様々な教科等においても機会を捉えて指導していくことが重要である。

3　中学校

（１）　国語

① 平均正答率、正答分布など

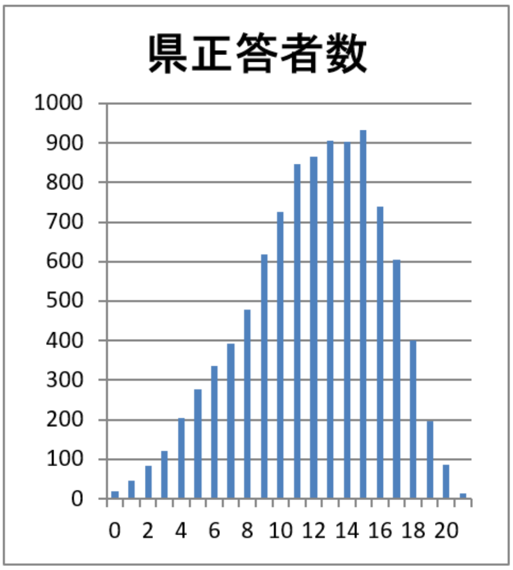
【第１学年】

実施生徒数	9,794　人
設問数	21　問
平均正答率	57.0　％

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（％）
学習指導要領の内容	知識及び技能		9	51.6
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	4	51.9
		書くこと	4	81.9
		読むこと	4	49.4
評価の観点	知識・技能		10	54.4
	思考・判断・表現		11	59.4
問題形式	選択式		13	61.7
	短答式		7	52.5
	記述式		1	27.3

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



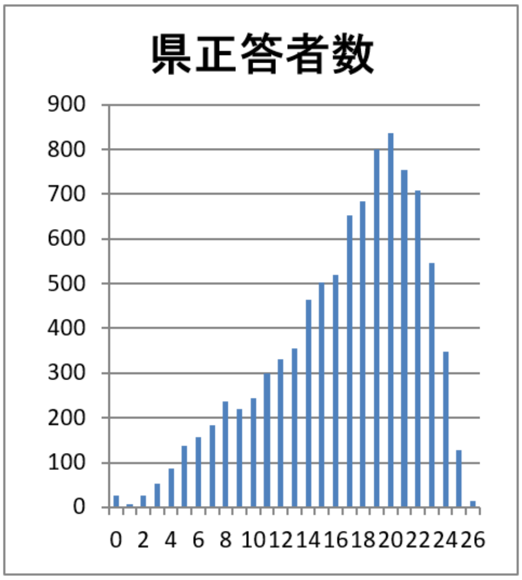
【第２学年】

実施生徒数	9,321　人
設問数	26　問
平均正答率	64.1　％

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（％）
学習指導要領の内容	知識及び技能		12	56.8
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	8	72.7
		書くこと	2	48.8
		読むこと	4	76.3
評価の観点	知識･技能		12	56.8
	思考･判断･表現		14	70.3
問題形式	選択式		20	70.3
	短答式		5	47.3
	記述式		1	22.2

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



② 具体的な問題と解答状況　－中学校第１・２学年　国語－

〇相当数の生徒ができている問題

> 〇　「案内状の適切な書き方を理解すること」について、正答率が高い。

第１学年　[2]　（１）

【案内状】の＿＿＿＿部①「海山中学校生徒会」は，何を表していますか。最も適切なものを，次の中から一つ選びなさい。

【案内状】

令和〇年９月２７日

地域のみな様

海山中学校生徒会（①）

海山中学校文化祭のご案内

[　②　]みな様いかがお過ごしでしょうか。さて，このたび海山中学校文化祭を下記の通り開催します。今回は，「芸術の秋」をテーマにさまざまなプログラムを考えており，校区の小・中・高校生や地域の方も参加できる「おすすめの本の紹介会」を行う予定です。参加者を募集（ぼしゅう）していますので，興味のある方はチラシを③見ましょう。地域のみな様と，素敵な秋の一日を楽しみたいと思っていますので，どうぞおさそいあわせのうえ，おこしください。

記

文化祭当日は１０月２８日（土）です。当日の④カイジョウは８時 30 分，開始は９時からです。終了（しゅうりょう）予定時刻は 15 時です。場所は，海山中学校体育館と多目的ホールです。スリッパをご持参ください。車で来る人は，グラウンドを駐車場（ちゅうしゃじょう）にしているので，気をつけてとめてください。

・受取人　　・差出人　　・前文　　・後付け

【正答】　[2]　（１）　差出人

【正答率】　84.9%

【誤答類型】

・受取人…8.6%　　・前文…4.8%

・後付け…1.4%　　・無答…0.3%

●課題のみられる問題

●　「表現の技法について理解すること」について、課題が見られる。

第１学年 3 （２）

次の【文学的文章】は，石川さんたち３人が読んだ本の一部です。僕はジムの持っている絵具を何にたとえていますか。それを【文学的文章】の中から５文字で抜き出しなさい。

【文学的文章】

ふと僕は学校の友達の持っている西洋絵具を思い出しました。その友達はやはり西洋人で，しかも僕より二つぐらい齢が上でしたから，身長は見上げるように大きい子でした。ジムというその子の持っている絵具は舶来の上等のもので，軽い木の箱の中に，１２色の絵具が小さなすみのように四角な形にかためられて，二列にならんでいました。どの色も美しかったが，とりわけて藍と洋紅とはびっくりするほど美しいものでした。（中略）その絵具をぬると，下手な絵さえがなんだか見ちがえるように美しく見えるのです。僕はいつでもそれをうらやましいと思っていました。あんな絵具さえあれば僕だって海の景色を本当に海に見えるように描いて見せるのになあと，自分の悪い絵具を恨みながら考えました。そうしたら，その日からジムの絵具がほしくってほしくってたまらなくなりました。けれども僕はなんだか臆病(おくびょう)になってパパにもママにも買って下さいと願う気になれないので，毎日毎日その絵具のことを心の中で思いつづけるばかりで幾日か日がたちました。

（後略）

【正答】　3 （２）小さなすみ
【正答率】　25.7%

【誤答類型】	舶来の上等…26.8%	美しいもの…3.5%	ジムの絵具…3.0%
	上等のもの…2.3%	舶来…1.8%	西洋絵具…1.4%
	軽い木の箱…1.3%	その他…26.8%	無答…7.4%

結果を踏まえて　【誤答の状況とそれに応じた解決の方法】

特徴的な誤答

〇「僕」は、ジムの持っている絵具を「舶来の上等」にたとえていました。

→ジムの絵具がどのようなものかを表す叙述に着目して読むことはできているが、<u>その中で、「たとえる」という表現の技法を使っている叙述を捉えることができていない子どもが多いと考えられる</u>。

このような誤答の子どもは…

<u>さまざまな表現の技法の名称とその用法や効果を理解することに課題</u>があると考えられる。

課題解決に向けて

【課題解決に役立つやまぐちっ子学習プリント】
中学校１年　言語事項①ステップ４、５

【授業改善の方策】

〇文章を読んで感じたことを基に、表現の技法を探したり、その用法や効果を整理したりする活動を設ける。

この物語を読んで、中心人物にどのような印象をもちましたか？

とても前向きで、やりとげる力のある人物だと思いました。

そのように感じるのは、どのような表現からなのか探してみましょう。

・表現の技法の名称とその用法や効果を形式的に学ばせるだけでは、**文脈の中で表現の技法を捉えその効果を理解したり、話や文章の中で表現の技法を使ったりする**ことにつながりにくい。
・**表現の技法の効果を実感している場面**で、その表現の効果と結び付けながら、**表現の技法の名称や用法等を整理**していくことが効果的である。

【学校・家庭・地域との連携】

表現の技法を話や文章の中で使う機会として、家族や地域の人に向けた表現活動の場が考えられる。実際に工夫して表現の技法を使うことが、その用法や効果を実感を伴って理解することにつながる。

（２） 数学

① 平均正答率、正答分布など

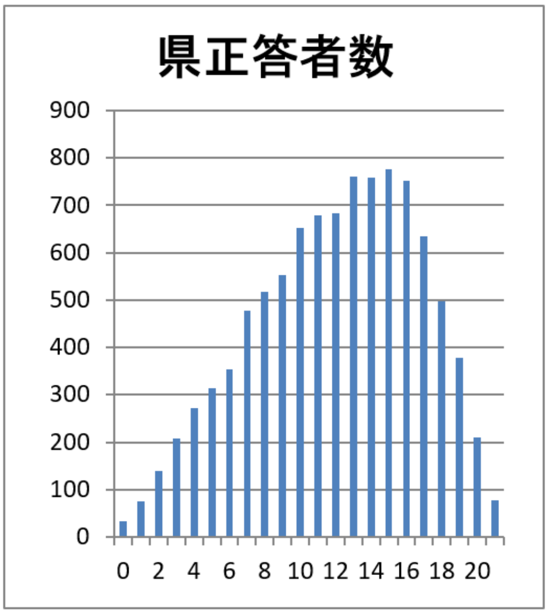
【第１学年】

実施生徒数	9,802 人
設問数	21 問
平均正答率	57.0 ％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
学習指導要領の内容	数と式	8	57.2
	図形	5	60.0
	変化と関係	5	53.2
	データの活用	3	57.9
評価の観点	知識・技能	14	63.7
	思考・判断・表現	7	43.6
問題形式	選択式	7	50.5
	短答式	13	62.0
	記述式	1	37.6

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



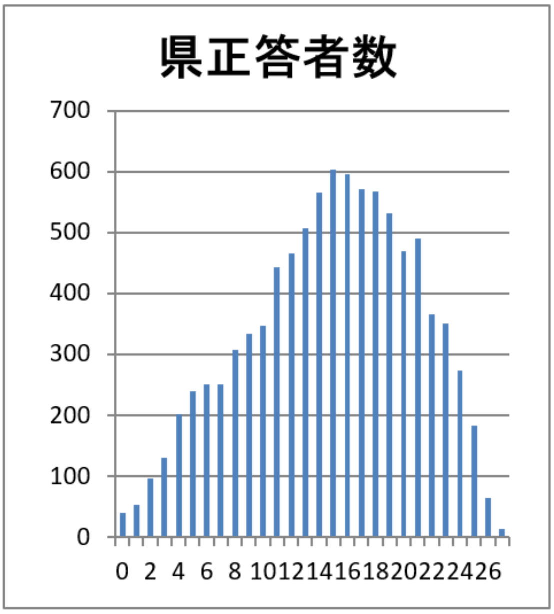
【第２学年】

実施生徒数	9,313 人
設問数	27 問
平均正答率	54.6 ％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
評価の観点	数と式	15	58.3
	図形	4	57.7
	関数	5	46.1
	データの活用	3	46.4
評価の観点	知識・技能	24	55.4
	思考・判断・表現	3	48.2
問題形式	選択式	12	47.8
	短答式	14	61.5
	記述式	1	40.0

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



②具体的な問題と解答状況　－中学校第１・２学年　数学－

〇相当数の生徒ができている問題

〇　「線対称な図形について、対象の軸の本数を求めること」について、正答率が高い。

第１学年　5　（１）

（1）　下の**図１**は，けんじさんが見つけてきた山口県の県章（マーク）です。山口県の県章（マーク）は線対称な図形で，**図２**のように対称の軸を１本だけ引くことができます。

図１

図２

下の**図３**は，あかりさんが見つけてきた宮崎県の県章（マーク）です。
宮崎県の県章は対称の軸を何本引くことができますか，答えなさい。

図３

【正答】　5　（１）　３本
【正答率】　85.5　%

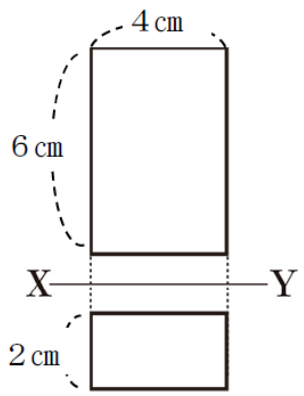
【誤答類型】１…5.9%　２…2.8%　４…1.3%　その他…3.6%　無答…0.9%

●課題のみられる問題

● 「投影図から立体の表面積について理解すること」について、課題が見られる。

第２学年 7 （２）

（2） 次の図は，直方体を投影図に表したものです。この直方体の表面積を求めなさい。



【正答】 7 （２） 88
【正答率】 12.7 ％

【誤答類型】	48…33.1%	112…12.7%	24…7.3%	32… 7.0%
	12… 3.1%	その他…17.4%	無答…6.9%	

結果を踏まえて　**【誤答の状況とそれに応じた解決の方法】**

特徴的な誤答

〇投影図から、縦が２㎝、横が４㎝、高さが６㎝の直方体といえます。
　縦×横×高さから
　　２×４×６＝４８となり、表面積は４８㎝^{2}となります。

→直方体の縦、横、高さにあたる長さは捉えられているものの、表面積と体積を区別化できていない、もしくは、表面積と体積の求め方を取り違えて計算している。

〇投影図から、側面は合同な長方形が４枚あるので、側面積は４×６×４＝９６㎝^{2}。また、底面は長方形だから、底面積は２×４＝８㎝^{2}になります。だから、求める表面積は、９６＋８×２＝112㎝^{2}です。

→側面積と底面積をもとに立体の表面積を求めることについては理解しているものの、直方体の側面が合同な長方形で構成されていると誤解している。

このような誤答の子どもは…

投影図の見方や直方体の形、見取り図については理解ができているものと思われる。

表面積と体積それぞれを正確に求められることについて課題があると考えられる。また、投影図や見取り図をもとに、**直方体の面や辺の構成を理解し、具体的な長さが入った展開図に表していくことについて課題**があると考えられる。

課題解決に向けて

【課題解決に役立つやまぐちっ子学習プリント】
やまぐちっ子学習プリント　１年「空間図形」　ステップ２・３

【授業改善の方策】

①立体の求積（体積や表面積）の学習場面では、見取り図や展開図など、求積に必要な図をもとにして、正しく計算できるよう支援することが大切である。特に、表面積については、合同な面の数などに着目し、立式の仕方に対する指導、支援が求められる。

②投影図を学習する際に、示された立体の名称を明らかにすることに加え、その見取り図や展開図を表現させることで、立体の面や辺の構成にまで着目させることが大切である。

【学校・家庭・地域との連携】

立体の表面積や体積について、算数科における指導内容について近隣の小学校教員と協議したり、実際の授業を参観したりするなど、小・中の連携を生かして学習の系統性について理解を深めていくことが求められる。

（３）英語

①　平均正答率、正答分布など

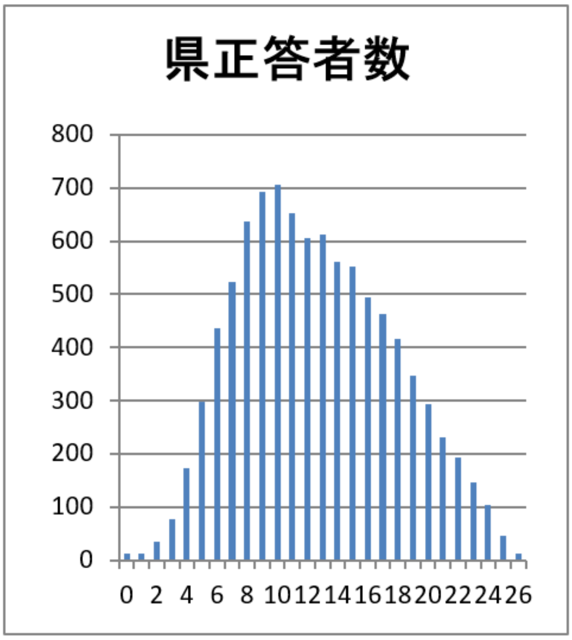
【第２学年】

実施生徒数	9,331　人
設問数	26　問
平均正答率	48.6　％

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
学習指導要領の内容	聞く	8	66.0
	読む	12	51.6
	書く	6	15.8
評価の観点	知識・技能	19	54.8
	思考・判断・表現	7	34.1
問題形式	選択式	20	57.4
	短答式	2	6.8
	記述式	4	21.8

正答数分布グラフ

（横軸：正答数〔問〕、縦軸：人数〔人〕）



②具体的な問題と解答状況　－中学校第２学年　英語－

〇相当数の生徒ができている問題

〇　「基本的な語や文法事項を理解して，会話の中で適切に使うこと」について、正答率が高い。

第２学年　4　（４）

4　次の（１）～（４）の対話が完成するように，（　　）に入る英語として最も適切なものを，次の中から１つずつ選びなさい。

（４）A：　I went to a nice Japanese restaurant yesterday.
B：　Really?　I want （　　　） there.
A：　OK.　Let's go.

1 goes　　2 going　　3 to go　　4 went

【正答】　4　（４）　　３
【正答率】　81.4　%

【誤答類型】１… 5.1%　　２…10.1%
４… 3.1%　　無答…0.3%

●課題のみられる問題

●　「文脈に合うように，内容を考えて，基本的な文法事項を活用し英文を書くこと」について、課題が見られる。

第２学年 5 （２）

5 次の（１），（２）のそれぞれの【場面】で，（　　）内の語を用いて必要があれば適切な形に変えたり，不足している語を補ったりして，会話が成り立つ英文を完成させ，（　　）内に３語以上で入力しなさい。

(例)　【場面】ＡとＢが朝，学校で会話をしています。

A: I visited your house at 3:00 p.m. yesterday.

B: Really? I (　　play　　) in the park then.

[答え] was playing tennis

（２）【場面】ミカ（M）とジョン(J)が休み時間に話しています。

M: I was looking for you, John! We had a meeting!
(　　be　　)?

J: In the library. I'm sorry. I was reading a science book.

M: Don't forget next time.

(注) look for~:～を探す　meeting:会議　forget:忘れる

【正答】 5 （２）

Where were you

【正答率】 4.2 %

※設問別正答率では、県全体正答率が6.7%になっており、左枠内で示した正答率と異なります。
※理由：左枠内で示した正答以外でも、正答の条件に沿っているものを○として処理しているため。

【誤答類型】
２…Where are you 2.3%
３…be 2.3%
４…being 1.1%
５…to be 0.8%
６…Where do you be 0.7%
７…Where did you be 0.6%
８…It will be 0.6%
９…その他 56.7%
無答…30.6%

結果を踏まえて　**【誤答の状況とそれに応じた解決の方法】**

特徴的な誤答

① Where are you,　Where do you be,　Where did you be

→ 会話の流れから場所を尋ねる必要があることは理解しているが、時制に誤りがある。または be 動詞の疑問文に関する文法事項を理解していない。【正確さ】

② be, being, to be, It will be

→ 会話の流れから場所を尋ねる必要があることを理解していない。【読解力】

③ 無答

→ 問題や会話の内容を理解していない。または会話の内容は理解しているが、伝えたいことが英語で表現できない。【表現力】

このような誤答の子どもは…

①会話の内容を把握し、疑問詞 where を用いて２人称単数の疑問文を書いているが、**時制を正しく判断して文を書くこと**や**基本的な文法事項等を理解して文を書くこと**に課題があると考えられる。

②会話の内容が把握できておらず、**文脈に合うように内容を考えること**に課題があると考えられる。

③問題や会話の内容が理解できておらず、**求められていることがわからない**と考えられる。または求められていることはわかるが、それを**英語で表現すること**に課題があると考えられる。

課題解決に向けて

【課題解決に役立つやまぐちっ子学習プリント】

中１英語_05_疑問詞で始まる疑問文　中２英語_12_be 動詞の過去形／過去進行形

やまぐちっ子 DASH！中２英語「書くこと」③

【授業改善の方策】

目的・場面・状況に応じた言語活動を行う中で、その場に適切な内容を**考える**機会を設定したい。また**粘り強く**書こうとする姿勢を身に付けさせるため、**書く時間**を設け、**継続的**に取り組ませたい。それと同時に、**正確さ**を意識しながら基本的な語や文法事項等を身に付けさせる必要がある。

【学校・家庭・地域の連携】

家庭や地域の協力による**学び直し**を通して、基本的な語や文法事項等の理解を深めたい。また、ＡＬＴや地域に住んでいる**外国人**等に英作文を添削してもらったり、コメントをもらったりして、英語を**書く力**を高めたい。

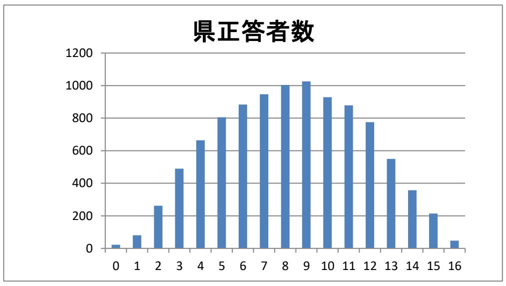
4 設問別正答率

令和５年度　学力定着状況確認問題　設問別正答率

小学校第5学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		7	51.0
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	3	56.6
		書くこと	2	35.1
		読むこと	4	57.8
評価の観点	知識・技能		7	51.0
	思考・判断・表現		9	52.4
問題形式	選択式		15	54.0
	短答式			
	記述式		1	19.0



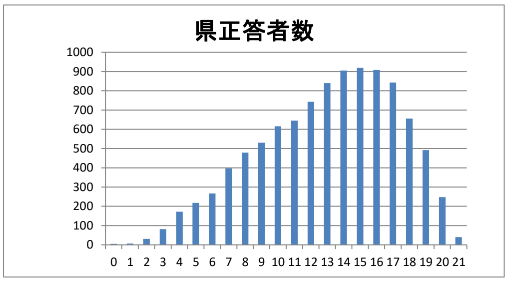
設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：知識及び技能	思考力・判断力・表現力等：話すこと・聞くこと	思考力・判断力・表現力等：書くこと	思考力・判断力・表現力等：読むこと	評価の観点：知識・技能	評価の観点：思考・判断・表現	問題形式：選択式	問題形式：短答式	問題形式：記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（%）
1	1	①	文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。	5				○		○	○			小5_読む01_必要な情報の取り出し１（公民館）		47.7
1	2	②	中心となる語や文を見付けて要約しながら読むことができるかどうかをみる。	4				○		○	○			小4_読む10_☆やまぐちっ子プラス 読むこと2		48.4
1	3	③	文書全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。	5				○		○	○			小4_読む02_「お楽しみ会のお知らせ」		62.7
1	4	④	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	4	○				○		○			小3_ことば06_漢字を読む2		52.5
1	5	⑤	文章を読んで理解したことに基づき、 自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。	4				○		○	○			小4_読む06_「花火大会」		72.6
2	1	⑥	必要なことを質問し、自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。	4		○				○	○			小5_話す・聞く06_話し合い2		37.9
2	2	⑦	文中における被修飾語を捉えることができるかどうかをみる。	3	○				○		○			小3_ことば08_修飾語4		31.7
2	3	⑧	文中における主語、述語を捉えることができるかどうかをみる。	2	○				○		○			小2_ことば06_ことばの使い方2		27.4
2	4	⑨	目的や意図に応じ、話の内容を捉えて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。	5		○				○	○			小5_話す・聞く09_☆やまぐちっ子プラス 話すこと・聞くこと1		70.3
2	5	⑩	目的や意図に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。	5		○				○	○			小5_話す・聞く01_話し方1		61.6
2	6	⑪	【動画問題】 学年別漢字配当表に示されている漢字の筆順を理解することができるかどうかをみる。	3	○				○		○					71.7
3	1	⑫	自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	5			○			○	○					51.2
3	2	⑬	文と文とのつながりを捉え、適切な接続語を用いることができるかどうかをみる。	4	○				○		○			小4_書く01_接続語・文末表現		70.9
3	3	⑭	目的や意図に応じて、取材内容をもとにして、自分の考えをまとめることができるがどうかをみる。	4			○			○			○	小5_書く09_☆やまぐちっ子プラス 書くこと1		19.0
3	4	⑮	長い間使われてきた慣用句の意味を知り、日常生活でも使うことができるかどうかをみる。	3	○				○		○			小5_我が国の言語文化01_慣用句・古文		23.4
3	5	⑯	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	5	○				○		○			小5_言葉の特徴や使い方02_同音異義語		79.6

小学校第6学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		10	61.7
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	4	67.4
		書くこと	4	59.9
		読むこと	3	57.5
評価の観点	知識･技能		10	61.7
	思考･判断･表現		11	62.0
問題形式	選択式		19	65.7
	短答式		1	11.7
	記述式		1	39.6



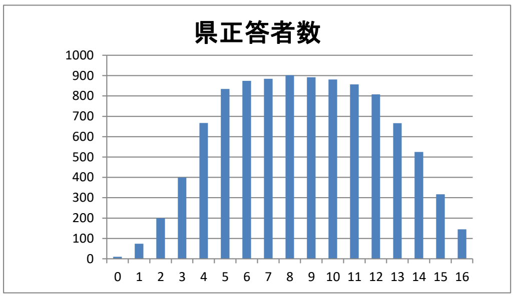
設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：知識及び技能	思考力･判断力･表現力等：話すこと・聞くこと	思考力･判断力･表現力等：書くこと	思考力･判断力･表現力等：読むこと	評価の観点：知識・技能	評価の観点：思考・判断・表現	問題形式：選択式	問題形式：短答式	問題形式：記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（%）
1	1	①	文章全体の構成を捉え、要旨を把握できるかどうかをみる。	5				○		○	○			小6_読む03_「ユニバーサルデザイン」（尾括型の説明文）		57.4
1	2	②	段落相互の関係を捉えることができるかどうかをみる。	4				○		○	○					57.3
1	3	③	指示する語句の役割を理解しながら読むことができるかどうかをみる。	4	○				○			○				11.7
1	4	④	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかをみる。	5	○				○		○					70.7
1	5	⑤	文章を読んで理解したことをまとめることができるかどうかをみる。	4				○		○	○			小4_読む06_「花火大会」		58.0
1	6	⑥	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	4	○				○		○			小5_言葉の特徴や使い方02_同音異義語2		94.6
1	7	⑦	漢字の組み合わせについて理解することができるかどうかをみる。	4	○				○		○			小6_言葉の特徴や使い方04_熟語の成り立ち4		79.6
1	8	⑧	慣用句の意味を理解しているかどうかをみる。	4	○				○		○					79.8
2	1	⑨	必要なことを質問し、自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。	4		○				○	○			小5_話す・聞く06_話し合い2		70.3
2	2	⑩	文中における被修飾語を捉えることができるかどうかをみる。	3	○				○		○			小3_ことば08_修飾語4		59.9
2	3	⑪	目的に応じた取材の進め方を捉えることができるかどうかをみる。	5		○				○	○			小3_話す・聞く09_☆やまぐちっ子プラス 話すこと・聞くこと1		73.7
2	4	⑫	目的や意図に応じ、話の内容を捉えて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。	5		○				○	○			小5_話す・聞く09_☆やまぐちっ子プラス 話すこと・聞くこと1		46.6
2	5	⑬	目的や意図に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。	5		○				○	○			小5_話す・聞く01_話し方1		78.9
2	6	⑭	文中における主語、述語を捉えることができるかどうかをみる。	2	○				○		○			小2_ことば06_ことばの使い方2		43.7
2	7	⑮	【動画問題】 学年別漢字配当表に示されている漢字の筆順を理解することができるかどうかをみる。	3	○				○		○					65.8
3	1	⑯	自分の考えが伝わるように，書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	5			○			○	○					56.4
3	2	⑰	図や写真などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるかどうかをみる。	5			○			○	○					79.7
		⑱		5			○			○	○					63.9
3	3	⑲	文と文とのつながりを捉え、適切な接続語を用いることができるかどうかをみる。	4	○				○		○			小4_書く01_接続語・文末表現		70.7
3	4	⑳	目的や意図に応じて、取材内容をもとにして、自分の考えをまとめることができるがどうかをみる。	5			○			○			○	小5_書く07_☆やまぐちっ子プラス書くこと1		39.6
3	5	㉑	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	4	○				○		○			小5_言葉の特徴や使い方02_同音異義語2		40.6

小学校第5学年　算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	4	53.2
	図形	4	56.6
	測定・変化と関係	5	60.2
	データの活用	3	42.5
評価の観点	知識・技能	7	57.6
	思考・判断・表現	9	51.6
問題形式	選択式	13	56.8
	短答式	2	47.9
	記述式	1	33.7



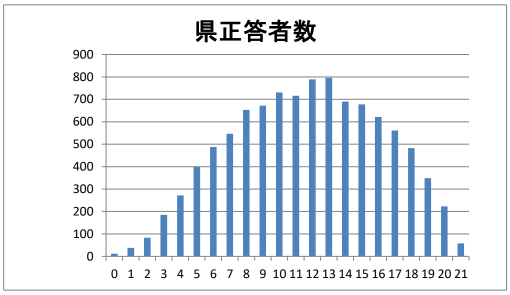
設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：数と計算	学習指導要領の内容：図形	学習指導要領の内容：測定・変化と関係	学習指導要領の内容：データの活用	評価の観点：知識・技能	評価の観点：思考・判断・表現	問題形式：選択式	問題形式：短答式	問題形式：記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（％）
1	(1)	1)	整数ー小数の計算をすることができる。	4	○				○		○			小４＿数と計算＿０４＿小数（２）		46.4
	(2)	2)	整数÷小数のわり算をし、商とあまりを正しく求めることができる。	5	○				○		○			小５＿数と計算＿０３＿小数		43.7
2	(1)	3)	伴って変わる二つの数量の変化や特徴をとらえ、その答えを求めることができる。	4			○		○			○		小４＿変化と関係＿２１＿☆やまぐちっ子プラス変化と関係２		82.5
	(2)	4)	伴って変わる二つの数量の変化や特徴をとらえ、その答えを求める式を立てることができる。	4			○			○	○			小４＿変化と関係＿２１＿☆やまぐちっ子プラス変化と関係２		47.5
3		5)	帯分数の意味を理解し、数直線図に表すことができる。	4	○				○		○			小４＿数と計算＿０５＿分数		69.7
4	(1)	6)	ひし形の性質について正しく理解している。	4		○			○		○			小４＿図形＿１０＿四角形		56.1
	(2)	7)	解き方の説明の文に合った、複合図形の面積を求める式を立てることができる。	4		○				○	○			小４＿図形＿０９＿面積		72.0
	(3)	8)	平行四辺形の性質を正しく理解している。	4		○				○			○	小４＿図形＿１０＿四角形		33.7
5	(1)	9)	示された場面において必要な情報を使って計算し、数量の関係を捉えることができる。	4			○			○	○			小４＿変化と関係＿２３＿割合		61.0
	(2)	10)	比較量と基準量を使って、割合を求めることができる。	4			○		○		○			小４＿変化と関係＿２３＿割合		52.3
	(3)	11)	必要な基準量や比較量、割合を理解し、それらを使って答えを求めることができる。	4			○			○	○			小４＿変化と関係＿２３＿割合		57.7
6	(1)	12)	「上から〇桁の概数」という意味を理解し、読み取った数値を概数で表すことができる。	4	○				○		○			小４＿数と計算＿０２＿およその数		52.9
	(2)	13)	それぞれのグラフの目盛りに着目し、グラフを正しく読み取ることができる。	4				○		○	○			小４＿データの活用＿１６＿☆やまぐちっ子プラスデータの活用		74.7
	(3)	14)	目的に応じて集めたデータを二つの観点から、分類整理することができる。	4				○		○		○		小４＿データの活用＿２２＿☆やまぐちっ子プラスデータの活用２		13.3
	(4)	15)	グラフの目盛りやグラフが表す事柄を正しく読み取ることができる。	3				○		○	○			小３＿データの活用＿１６＿☆やまぐちっ子プラスデータの活用		39.6
7		16)	【動画問題】動画を見て、折り紙を切り開いたときにできる形を多角形の性質をもとに判断することができる。	3		○				○	○			小３＿図形＿０９＿三角形と角		64.6

小学校第6学年　算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と計算	9	59.9
	図形	5	45.9
	測定・変化と関係	5	57.7
	データの活用	2	55.0
評価の観点	知識・技能	13	60.8
	思考・判断・表現	8	47.0
問題形式	選択式	13	59.2
	短答式	7	53.3
	記述式	1	23.7



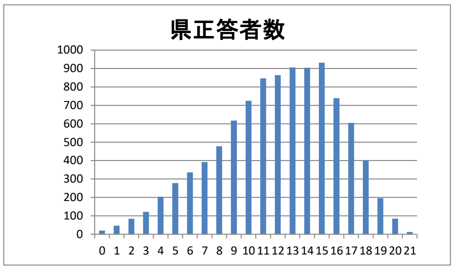
設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：数と計算	学習指導要領の内容：図形	学習指導要領の内容：測定・変化と関係	学習指導要領の内容：データの活用	評価の観点：知識・技能	評価の観点：思考・判断・表現	問題形式：選択式	問題形式：短答式	問題形式：記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（%）
1	(1)	1)	小数＋小数の計算をすることができる。	4	○				○		○			小４＿数と計算＿０４＿小数（２）		84.4
	(2)	2)	整数ー小数の計算をすることができる。	4	○				○		○			小４＿数と計算＿０４＿小数（２）		72.0
	(3)	3)	整数、分数、小数の乗法、除法の計算をすることができる。	6	○				○			○		小６＿数と計算＿０２＿わり算（３）		57.1
	(4)	4)	整数÷小数のわり算をし、商とあまりを正しく求めることができる。	5	○				○		○			小５＿数と計算＿０３＿小数		42.5
	(5)	5)	計算の順序に気を付けて、四則計算をすることができる。	4	○				○			○		小４＿数と計算＿０７＿式と計算の順じょ		71.2
	(6)	6)	分数の意味を理解している。	5	○				○		○			小５＿数と計算＿０４＿分数		70.3
2	(1)	7)	目的に応じた適切な見積もりの方法を考えることができる。	4	○					○		○		小４＿数と計算＿１９＿☆やまぐちっこプラス		28.7
	(2)	8)	分配法則を理解し、場に応じた用い方ができる。	4	○					○		○		小４＿数と計算＿０７＿式と計算の順じょ		26.9
	(3)	9)	計算結果をもとに、題意に即した判断をすることができる。	4	○					○	○			小４＿数と計算＿１９＿☆やまぐちっこプラス		85.7
3	(1)	10)	百分率で表された割合について、等しい割合を理解している。	5			○		○		○			小５＿変化と関係＿１３＿割合		66.1
	(2)	11)	複数の図や表から、必要な情報を読み取ることができる。	5				○		○	○			小５＿データ活用＿１９＿やまぐちっ子プラスデータ活用		67.6
	(3)	12)	情報を表に整理し、条件に合う数を見つけることができる。	4				○		○		○		小４＿データ活用＿１６＿やまぐちっ子プラスデータ活用		42.5
4	(1)	13)	基準量と比較量をもとに、割合を求めることができる。	4			○		○			○		小４＿変化と関係＿２３＿割合		79.7
	(2)	14)	値上げされた金額の求め方を理解している。	4			○		○		○			小５＿変化と関係＿２４＿☆やまぐちっ子プラス変化と関係２		57.9
	(3)	15)	値上げされた２つの数量について、割合に着目して比べ、より値上げされた数量を求めることができる。	5			○			○	○			小４＿変化と関係＿１７＿☆やまぐちっ子プラス変化と関係		32.4
	(4)	16)	量が変わっても、割合は変わらないことを理解している。	5			○		○		○			小５＿変化と関係＿２８＿☆やまぐちっ子プラス変化と関係３		52.4
5	(1)	17)	長方形のたてと横を見つけ、面積を求めることができる。	4		○			○			○		小４＿図形＿０９＿面積 小５＿図形＿２７＿☆やまぐちっ子プラス図形３		67.2
	(2)	18)	平行四辺形の高さと面積を見つけ、底辺を求める式を理解している。	5		○			○		○			小５＿図形＿０６＿面積 小５＿図形＿２７＿☆やまぐちっ子プラス図形３		19.4
	(3)	19)	平行四辺形の性質を理解している。	4		○			○		○			小４＿図形＿１０＿四角形 小５＿図形＿２７＿☆やまぐちっ子プラス図形３		50.4
	(4)	20)	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断、表現する。	5		○				○			○	小５＿図形＿０６＿面積		23.7
6		21)	【動画問題】 動画を見て、折り紙を切り開いたときにできる形を多角形の性質をもとに判断する。	5		○				○	○			小５＿図形＿２３＿☆やまぐちっ子プラス図形２		68.7

中学校第1学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		9	51.6
	思考力･判断力･表現力等	話すこと･聞くこと	4	51.9
		書くこと	4	81.9
		読むこと	4	49.4
評価の観点	知識・技能		10	54.4
	思考・判断・表現		11	59.4
問題形式	選択式		13	61.7
	短答式		7	52.5
	記述式		1	27.3



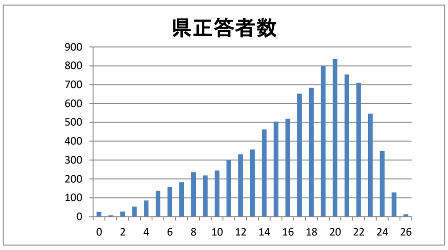
設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：知識及び技能	思考力･判断力･表現力等：話すこと・聞くこと	思考力･判断力･表現力等：書くこと	思考力･判断力･表現力等：読むこと	評価の観点：知識・技能	評価の観点：思考・判断・表現	問題形式：選択式	問題形式：短答式	問題形式：記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（％）
1	1	①	部首（くさかんむり）について理解できるかどうかをみる。	小３・４	○				○			○				85.2
1	2	②	【動画問題】 筆順（うまへん）について理解できるかどうかをみる。	小２	○				○		○					55.7
1	3	③	自分の考えが相手にわかりやすく伝わるように、構成を工夫して話すことができるかどうかをみる。	中１		○				○	○			小５　話す・聞く２（スピーチ）ステップ３		56.5
1	4	④	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することができるかどうかをみる。	中１		○				○		○		やまぐちっ子学習プリントプラス中１　話す・聞く		55.3
1	5	⑤	相手の反応を踏まえながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。	中１		○				○	○			やまぐちっ子学習プリント中１ 話す・聞く③　ステップ２		68.5
1	6	⑥	必要なことを質問しながら聞くことができるかどうかをみる。	中１		○				○			○			27.3
2	1	⑦	案内状の適切な書き方を理解することができるかどうかをみる。	中１			○			○	○			やまぐちっ子学習プリントプラス中１　書く		84.9
2	2	⑧	季節にあった適切な言葉を使うことができるかどうかをみる。	中１			○			○	○					91.0
2	3	⑨	同音異義語（開場）を理解できるかどうかをみる。	小５・６	○				○		○			小５　ことば１（同音異義語）ステップ１～２		40.5
2	4	⑩	意図に応じて書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	小５・６			○		○		○					79.5
2	5（１）	⑪	段落相互の関係に注意して文章を構成することができるかどうかをみる。	中１			○			○	○					72.3
2	5（２）	⑫	相手に応じて、適切な敬語を理解し使うことができるかどうかをみる。	小５・６	○				○			○		小５　ことば３（敬語）ステップ３～４		54.8
3	1	⑬	文節について理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○			○				73.1
3	2	⑭	表現の技法について理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○			○				25.7
3	3	⑮	語句の文脈上の意味を理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○		○					73.4
3	4（１）	⑯	熟語の構成について理解することができるかどうかをみる。	小５・６	○				○		○					26.0
3	4（２）	⑰	叙述を基に、人物の心情を捉えることができるかどうかをみる。	中１				○		○		○				31.2
3	4（３）	⑱	場面の展開をふまえ、人物の心情を捉えることができるかどうかをみる。	中１				○		○	○					53.4
3	4（４）	⑲	登場人物の相互関係について叙述をもとに捉えることができるかどうかをみる。	中１				○		○	○					70.5
3	4（５）	⑳	同音異義語（対照）を理解できるかどうかをみる。	小５・６	○				○		○			小５　ことば１（同音異義語）ステップ１～２		30.4
3	4（６）	㉑	場面と情景を結びつけて内容を解釈することができるかどうかをみる。	中１				○		○		○				42.3

中学校第2学年　国語

分類・区分別設問数

分類	区分		対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	知識及び技能		12	56.8
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	8	72.7
		書くこと	2	48.8
		読むこと	4	76.3
評価の観点	知識・技能		12	56.8
	思考・判断・表現		14	70.3
問題形式	選択式		20	70.3
	短答式		5	47.3
	記述式		1	22.2



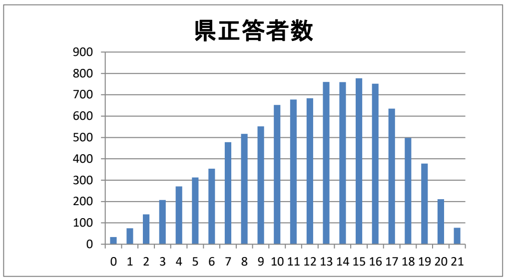
設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：知識及び技能	思考力・判断力・表現力等：話すこと・聞くこと	思考力・判断力・表現力等：書くこと	思考力・判断力・表現力等：読むこと	評価の観点：知識・技能	評価の観点：思考・判断・表現	問題形式：選択式	問題形式：短答式	問題形式：記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（%）
1	1	①	短歌の区切れについて理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○			○				24.6
1	2	②	歴史的仮名遣いについて理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○			○		中１　古典ステップ２		34.3
1	3	③	短歌に詠まれている情景を捉えることができるかどうかをみる。	中１				○		○	○					80.2
1	4	④	表現技法を理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○		○			中１　言語文化②ステップ５		75.8
1	5	⑤	短歌の表現の特徴を捉えることができるかどうかをみる。	中１				○		○		○				77.3
1	6	⑥	自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして話すことができるかどうかをみる。	中１		○				○	○			小５　話す・聞く２（話し合い）ステップ１～２ 小６　話す・聞く３（話し合い）ステップ１～４		56.4
1	7	⑦	互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるかどうかをみる。	中１		○				○	○			小５　話す・聞く２（話し合い）ステップ１～２ 小６　話す・聞く３（話し合い）ステップ１～４		79.2
1	8	⑧	立場を明確にしながら、話し合うことができるかどうかをみる。	小５・６		○				○	○			小５　話す・聞く２（話し合い）ステップ１～２ 小６　話す・聞く３（話し合い）ステップ１～４		67.3
2	1	⑨	自分の考えが伝わるように、話し方を工夫することができるかどうかをみる。	小３・４		○				○	○			小５　話す・聞く２（話し合い）ステップ１～２ 小６　話す・聞く３（話し合い）ステップ１～４		79.6
2	2	⑩	相手の発言を受けて、話をつなぐことができるかどうかをみる。	小３・４		○				○	○			小５　話す・聞く２（話し合い）ステップ１～２ 小６　話す・聞く３（話し合い）ステップ１～４		84.5
2	3	⑪	立場を明確にしながら、話し合うことができるかどうかをみる。	中１		○				○	○			小５　話す・聞く２（話し合い）ステップ１～２ 小６　話す・聞く３（話し合い）ステップ１～４		70.2
2	4	⑫	司会の役割を果たしながら話し合うことができるかどうかをみる。	小３・４		○				○	○			小５　話す・聞く２（話し合い）ステップ１～２ 小６　話す・聞く３（話し合い）ステップ１～４		85.1
2	5	⑬	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わりやすいように工夫することができるかどうかをみる。	小５・６		○				○		○				59.5
2	6	⑭	【動画問題】 行書の特徴を理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○		○					71.0
3	1	⑮	主語、述語の関係を理解することができるかどうかをみる。	小１・２	○				○		○					69.7
3	2	⑯	叙述を基に、文章の大体を捉えることができるかどうかをみる。	中１				○		○	○					76.3
3	3	⑰	熟語の構成について理解することができるかどうかをみる。	小５・６	○				○		○			小６　ことば１（熟語の成り立ち）ステップ１～４		53.4
3	4	⑱	文の構成を理解することができるかどうかをみる。	中１	○				○		○					20.3
3	5	⑲	指示語を理解することができるかどうかをみる。	小３・４	○				○			○		中１　言語文化②ステップ５		40.8
3	6	⑳	学年別配当漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	小５・６	○				○		○					63.9
3	7	㉑	段落相互の関係を捉えることができるかどうかをみる。	小５・６				○		○	○					71.5
3	8	㉒	情報と情報との関係を整理して捉えることができるかどうかをみる。	中１	○				○		○					69.5
4	1	㉓	図などから分かることを文章にまとめることができるかどうかをみる。	中２			○			○			○	小６　読む１（資料活用）ステップ２		22.2
4	2	㉔	接続する語句を正しく使うことができるかどうかをみる。	小５・６	○				○		○					88.1
4	3	㉕	情報と情報との関係を捉えることができるかどうかをみる。	中１	○				○		○					69.7
4	4	㉖	意図に応じて、文章を推敲することができるかどうかをみる。	中１			○			○	○					75.4

中学校第1学年　数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	数と式	8	57.2
	図形	5	60.0
	変化と関係	5	53.2
	データの活用	3	57.9
評価の観点	知識・技能	14	63.7
	思考・判断・表現	7	43.6
問題形式	選択式	7	50.5
	短答式	13	62.0
	記述式	1	37.6



設問別集計結果

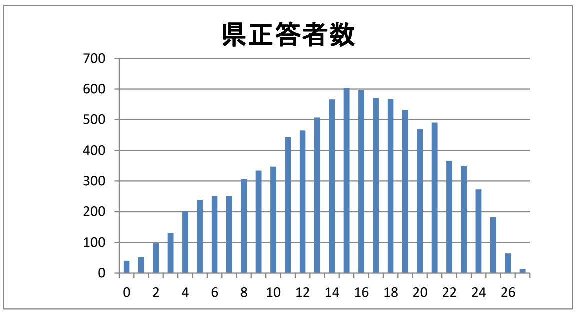
設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：数と式	図形	変化と関係	データの活用	評価の観点：知識・技能	思考・判断・表現	問題形式：選択式	短答式	記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（%）
1	(1)	1)	分数の加法の計算ができる	小5	○				○			○		小５＿分数		81.1
	(2)	2)	小数の除法の計算ができる	小5	○				○			○		小５＿小数（２）		75.4
	(3)	3)	きまりにしたがって計算できる	1	○				○			○		１年＿正の数・負の数		53.9
	(4)	4)	正の数・負の数の和・差と数の集合について理解している	1	○					○	○			１年＿正の数・負の数		67.3
	(5)	5)	自然数の意味を理解している	1	○				○		○			１年＿正の数・負の数		58.0
2	(1)	6)	一次式の減法の計算ができる	1	○				○			○		１年＿文字を用いた式		43.6
	(2)	7)	日常の場面で、最大公約数を活用できる	小5	○					○		○		小５＿倍数・約数		21.5
	(3)	8)	場合の数を求めることができる	小6				○	○			○		小６＿場合の数		59.5
	(4)	9)	符号の意味をとらえ、数量を求めることができる	1	○					○		○		１年＿正の数・負の数		56.9
3	(1)	10)	平行四辺形の面積を求めることができる	小5		○			○			○		小５＿面積		72.4
	(2)	11)	条件に合う線分の長さを求めることができる	小5		○				○	○			小５＿面積		23.0
	(3)	12)	正多角形をかく手順を理解し、条件に合う正多角形が求められる	小5		○			○			○		小５＿円と正多角形		55.0
	(4)	13)	円柱の展開図において、長さや面積の関係を理解している	小5		○			○		○			小５＿角柱と円柱		64.0
4	(1)	14)	ドットプロットから、度数を求めることができる	小6				○	○			○		小６＿資料の調べ方		71.8
	(2)	15)	ドットプロットや度数分布表から、データの特徴を読み取ることができる	小6				○	○		○			小６＿資料の調べ方		42.3
5	(1)	16)	線対称な図形について、対象の軸の本数を求めることができる	小6		○			○			○		小６＿対称な図形		85.5
	(2)	17)	条件に合う比の関係となる長さを求めることができる	小6			○		○			○		小６＿比		47.2
6		18)	比例の意味を理解し、説明することができる	小6			○			○			○	小６＿やまぐちっ子プラス変化と関係２		37.6
7	(1)	19)	問題場面における数量の関係をとらえることができる	1			○		○			○		１年＿やまぐちっ子プラス文字を用いた式		82.1
	(2)	20)	数量の関係をとらえ、条件に合う数量を求めることができる	1			○			○	○			１年＿やまぐちっ子プラス文字を用いた式		67.2
8		21)	【動画問題】 割合の意味を理解し、実生活の場面に活用できる	小5			○			○	○			小５＿割合		31.9

令和５年度　学力定着状況確認問題　設問別正答率

中学校第2学年　数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
評価の観点	数と式	15	58.3
	図形	4	57.7
	関数	5	46.1
	データの活用	3	46.4
評価の観点	知識・技能	24	55.4
	思考・判断・表現	3	48.2
問題形式	選択式	12	47.8
	短答式	14	61.5
	記述式	1	40.0



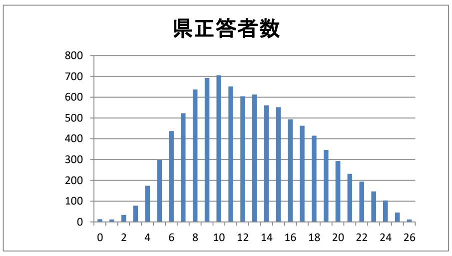
設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容：数と式	図形	関数	データの活用	評価の観点：知識・技能	思考・判断・表現	問題形式：選択式	短答式	記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（%）
1	(1)	1)	分数の加法の計算ができる	小５	○				○			○		小５＿分数		81.0
	(2)	2)	計算のきまりにしたがって計算することができる	中１	○				○			○		１年＿正の数・負の数		81.8
	(3)	3)	一次式の減法の計算ができる	中１	○				○			○		１年＿文字を用いた式		60.2
	(4)	4)	正の数と負の数の意味を，実生活の場面に結び付けて理解している	中１	○				○			○		１年＿正の数・負の数		82.4
	(5)	5)	自然数の意味を理解している	中１	○				○		○			１年＿正の数・負の数		44.5
2	(1)	6)	単項式の除法の計算ができる	中２	○				○			○		２年＿式の計算		55.0
	(2)	7)	多項式の減法の計算ができる	中２	○				○			○		２年＿式の計算		54.2
	(3)	8)	条件に合う数量を文字を用いて表すことができる	中２	○				○			○		２年＿文字式の利用		35.2
	(4)	9)	数量を文字を用いて表すことができる	中２	○				○		○			２年＿式の計算		32.5
	(5)	10)	文字を用いた式が表している数量を読み取ることができる	中１	○				○		○			１年＿文字を用いた式		28.6
	(6)	11)	場合の数を求めることができる	小６				○	○			○		小６＿場合の数		57.9
3	(1)	12)	二元一次方程式の解の個数の意味を理解している	中２	○				○		○			２年＿連立方程式		49.9
	(2)	13)	問題場面に合う一次方程式を作ることができる	中１	○				○		○			１年＿方程式		51.2
	(3)	14)	比例式を理解して，式を作り解くことができる	中１	○				○			○		１年＿方程式		73.8
4	(1)	15)	連立方程式の式の意味を理解している	中２	○				○			○		２年＿やまぐちっ子プラス連立方程式		65.0
	(2)	16)	連立方程式を解くことができる	中２	○				○			○		２年＿やまぐちっ子プラス連立方程式		79.7
5	(1)	17)	反比例の式を理解している	中１		○			○			○		１年＿比例・反比例		81.5
	(2)	18)	反比例のグラフの特徴を理解している	中１		○			○		○			１年＿比例・反比例		44.7
	(3)	19)	日常事象を比例とみなして、関係性を見つけることができる	中１		○				○	○			１年＿比例・反比例		55.8
6	(1)	20)	垂線の作図方法を理解している	中１			○		○		○			１年＿平面図形		17.5
	(2)	21)	回転移動を理解している	中１			○		○		○			１年＿平面図形		65.1
7	(1)	22)	投影図を理解している	中１			○		○		○			１年＿空間図形		82.6
	(2)	23)	投影図から立体の表面積を求めることができる	中１			○		○			○		１年＿空間図形		12.7
	(3)	24)	空間図形の直線の関係について理解している	中１			○		○		○			１年＿空間図形		52.6
8	(1)	25)	度数分布表から中央値を求めることができる	中１				○	○			○		１年＿データの活用		41.2
	(2)	26)	ヒストグラムを使って、理由を説明することができる	中１				○		○			○	１年＿やまぐちっ子プラス　データの活用		40.0
9		27)	【動画問題】 円周の長さと半径を使って、円の面積を示す式に表すことができる	中１		○				○	○			１年＿平面図形		48.7

中学校第2学年　英語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の内容	聞く	8	66.0
	読む	12	51.6
	書く	6	15.8
評価の観点	知識・技能	19	54.8
	思考・判断・表現	7	34.1
問題形式	選択式	20	57.4
	短答式	2	6.8
	記述式	4	21.8



設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容 聞く	学習指導要領の内容 読む	学習指導要領の内容 書く	評価の観点 知識・技能	評価の観点 思考・判断・表現	問題形式 選択式	問題形式 短答式	問題形式 記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	あなたの回答結果	県全体正答率（%）
1	(1)	①	日常的な話題について，情報を正確に聞き取ることができる。	1	○			○		○			中１英語_05_疑問詞で始まる疑問文		71.2
1	(2)	②	日常的な話題について，情報を正確に聞き取ることができる。	1	○			○		○			中１英語_02_一般動詞		63.3
1	(3)	③	日常的な話題について，情報を正確に聞き取ることができる。	2	○			○		○			中２英語_02_接続詞		71.6
2	(1)	④	日常的な話題について，情報を正確に聞き取ることができる。	1	○			○		○			中１英語_05_疑問詞で始まる疑問文		61.9
2	(2)	⑤	日常的な話題について，情報を正確に聞き取り、適切に応答することができる。	1	○			○		○			中１英語_06_代名詞		77.7
2	(3)	⑥	まとまりのある英語を聞いて，必要な情報を聞き取ることができる。	1	○			○		○			中１英語_07_命令文		47.5
3	(1)①	⑦	まとまりのある英語を聞いて，話の概要を聞き取ることができる。	1	○				○	○			中１英語_10_過去形 中１英語_11_不規則動詞の過去形		79.1
3	(1)②	⑧	聞いて把握した内容について，適切に対話を続けることができる。	1	○				○	○			中１英語_10_過去形 中１英語_11_不規則動詞の過去形		55.4
3	(2)	⑨	聞いて把握した内容について，適切なアドバイスを書くことができる。	2			○		○			○	中２英語_12_☆やまぐちっ子プラス書くこと（ALTの先生とのやりとり）		11.6
4	(1)	⑩	基本的な語や文法事項を理解して，会話の中で適切に使うことができる。	2		○		○		○			中２英語_01_未来の文		52.8
4	(2)	⑪	基本的な語や文法事項を理解して，会話の中で適切に使うことができる。	2		○		○		○			中２英語_01_未来の文		79.5
4	(3)	⑫	基本的な語や文法事項を理解して，会話の中で適切に使うことができる。	2		○		○		○			中２英語_02_接続詞		44.9
4	(4)	⑬	基本的な語や文法事項を理解して，会話の中で適切に使うことができる。	2		○		○		○			中２英語_03_to不定詞／動名詞		81.4
5	(1)	⑭	文脈に合うように，内容を考えて，基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	1			○	○			○		中１英語_05_疑問詞で始まる疑問文		6.9
5	(2)	⑮	文脈に合うように，内容を考えて，基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	1			○	○			○		中１英語_12_be動詞の過去形／過去進行形		6.7
6	(1)	⑯	表や資料に示された内容を読んで，必要な情報を読み取ることができる。	2		○		○		○			中２英語_16_☆やまぐちっ子プラス読むこと（必要な情報を読み取る）		54.5
6	(2)	⑰	表や資料に示された内容を読んで，概要を読み取ることができる。	2		○		○		○			中２英語_15_☆やまぐちっ子プラス読むこと（概要を捉える）		63.0
7	(1)	⑱	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで，情報を正確に読み取ることができる。	2		○		○		○			中２英語_16_☆やまぐちっ子プラス読むこと（必要な情報を読み取る）		57.0
7	(2)	⑲	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで，話の要点を読み取ることができる。	2		○			○	○			中２英語_18_☆やまぐちっ子プラス読むこと（要点を捉える２）		18.8
8	(1)	⑳	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，情報を正確に読み取ることができる。	2		○		○		○			中２英語_16_☆やまぐちっ子プラス読むこと（必要な情報を読み取る）		47.4
8	(2)	㉑	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，話の要点を読み取ることができる。	2		○			○	○			中２英語_17_☆やまぐちっ子プラス読むこと（要点を捉える１）		29.2
8	(3)	㉒	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで，話の概要を読み取ることができる。	2		○			○	○			中２英語_15_☆やまぐちっ子プラス読むこと（概要を捉える）		27.4
9	(1)	㉓	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで，話の要点を読み取り，適切な立場を表すことができる。	2		○		○		○			中２英語_11_☆やまぐちっ子プラス読むこと書くこと（日本のお正月）		63.8
9	(2)	㉔	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで，把握した内容について，まとまりのある英文を書くことができる。	2			○		○			○	中２英語_14_☆やまぐちっ子プラス読むこと書くこと		17.5
10		㉕	【動画問題】 動画に合うように，内容を考えて，基本的な文法事項を活用し，英文を書くことができる。	2			○	○				○	中１英語_08_現在進行形		36.4
		㉖		2			○	○				○			

Ⅲ　児童生徒質問紙調査の結果

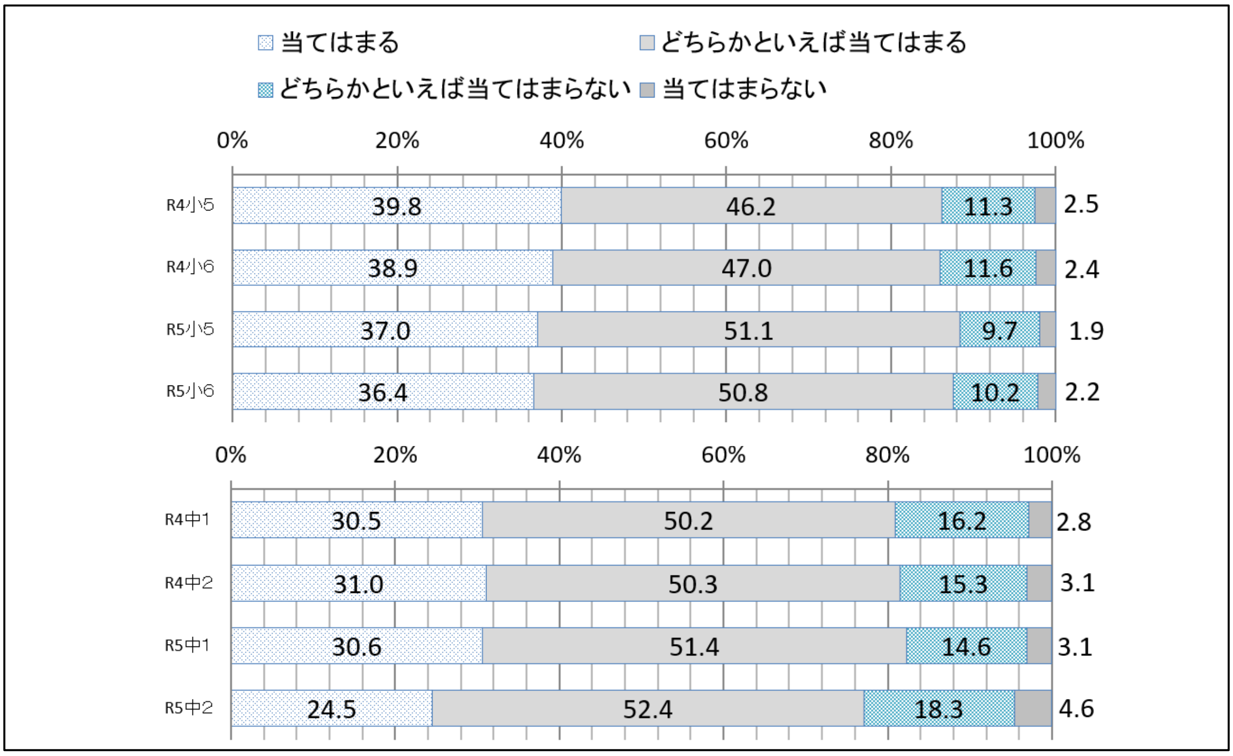
質問番号	質問項目
1	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること（振り返り）ができていると思う。
2	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。
3	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。
4	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。
5	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。
6	新自分には、よいところがあると思う。
7	国語の勉強が好きだ。
8	算数の勉強が好きだ。（小）数学の勉強が好きだ。（中）
9	社会の勉強が好きだ。
10	理科の勉強が好きだ。
11	英語の勉強が好きだ。
12	あなたは学校で、コンピューターなどのＩＣＴ機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。
13	あなたは学校で、コンピューターなどのＩＣＴ機器を、自分の考えをまとめ、発表する場面で、どの程度使用していますか。
14	やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。
15	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。）
16	新普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）。
18	読書は好きですか。
19	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか。
21	地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。
22	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
23	新あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。

Ⅲ　児童生徒質問紙調査の結果　（〇：成果　△：一部成果　●：課題）

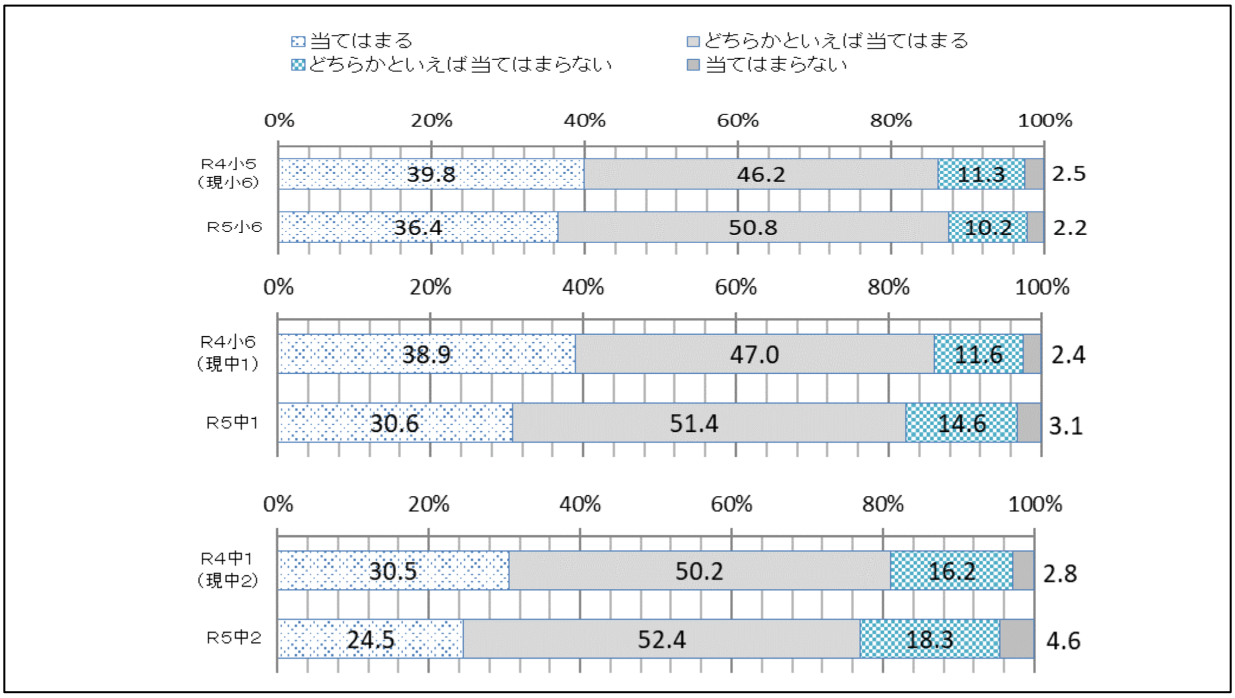
【質問１】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し（振り返り）、次の学習につなげることができていると思う。

● 「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、中学校１年生以外の学年で減少している。

【令和４年度調査との比較】



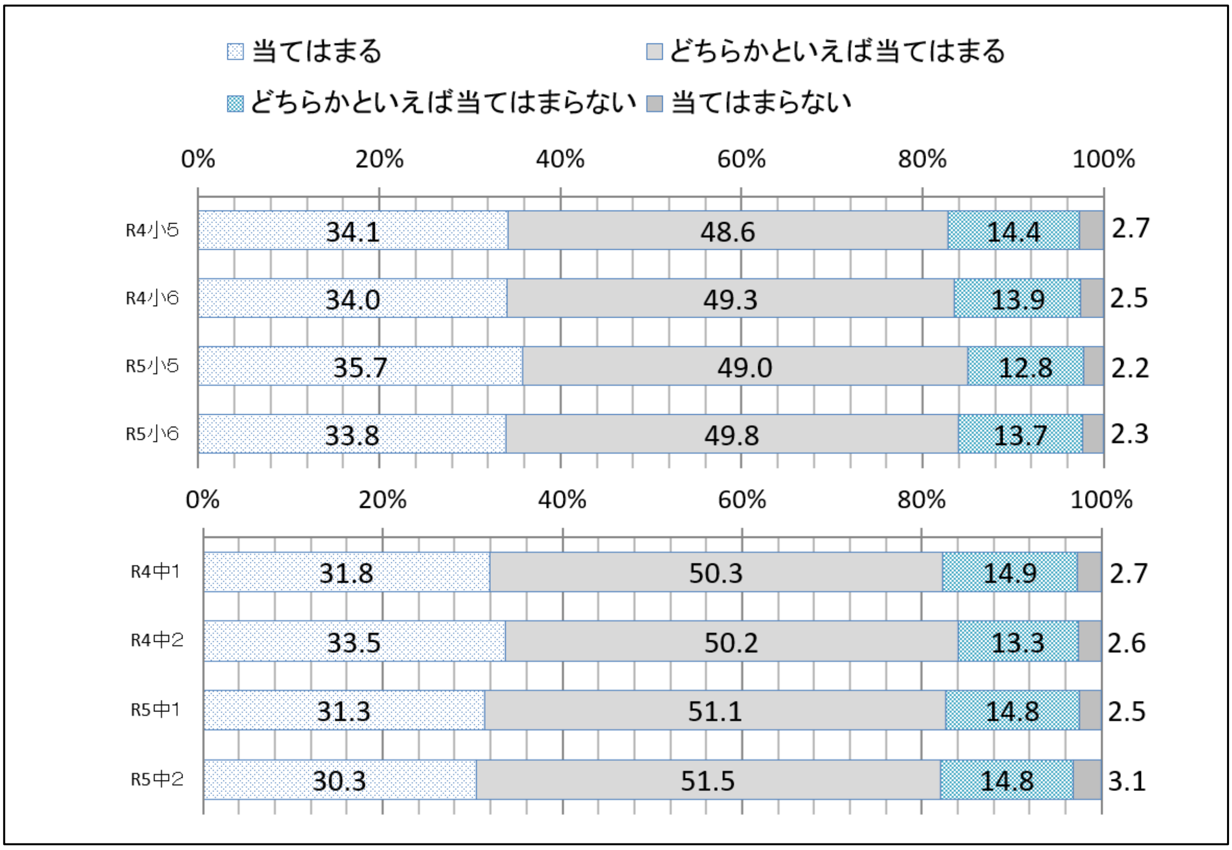
【同一の児童生徒集団で比較】



【質問２】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

● 「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校５年生以外の学年で減少している。

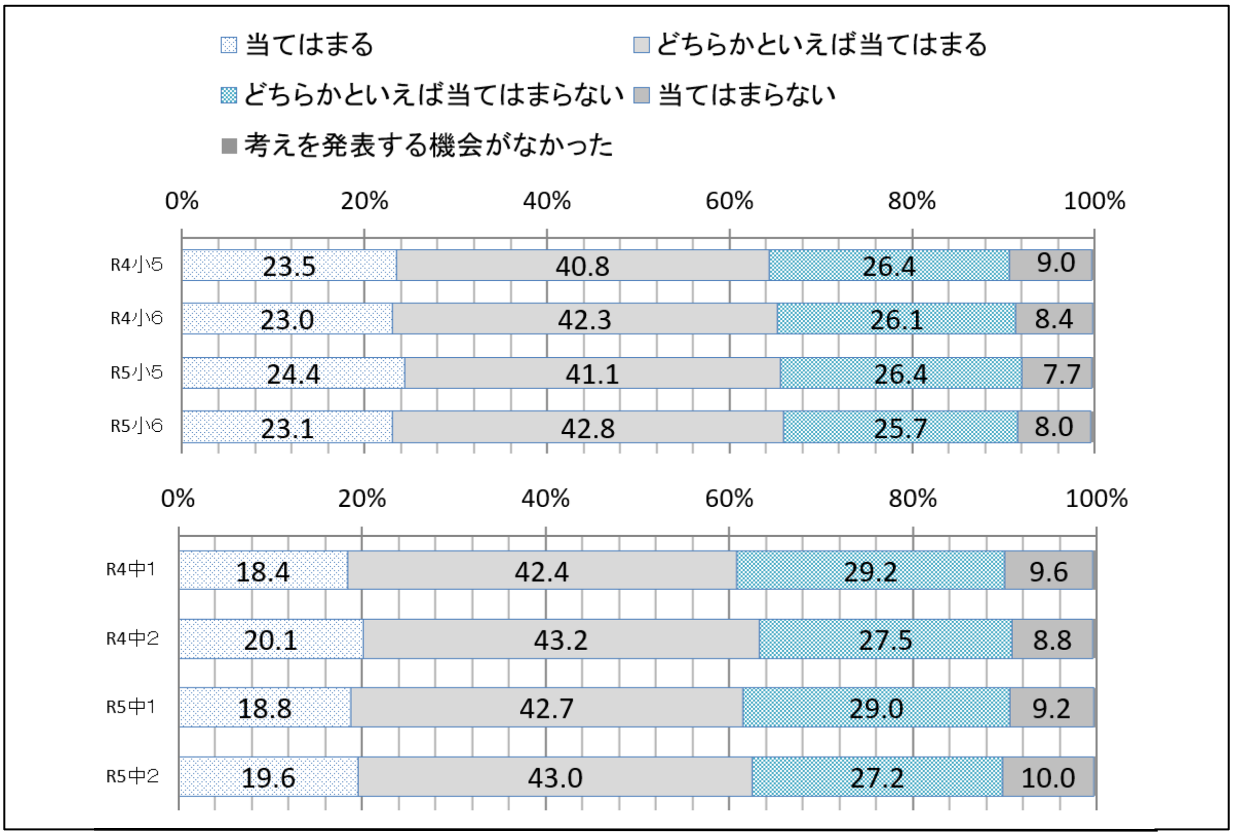
【令和４年度調査との比較】



【質問３】授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。

○　肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校は増加している。

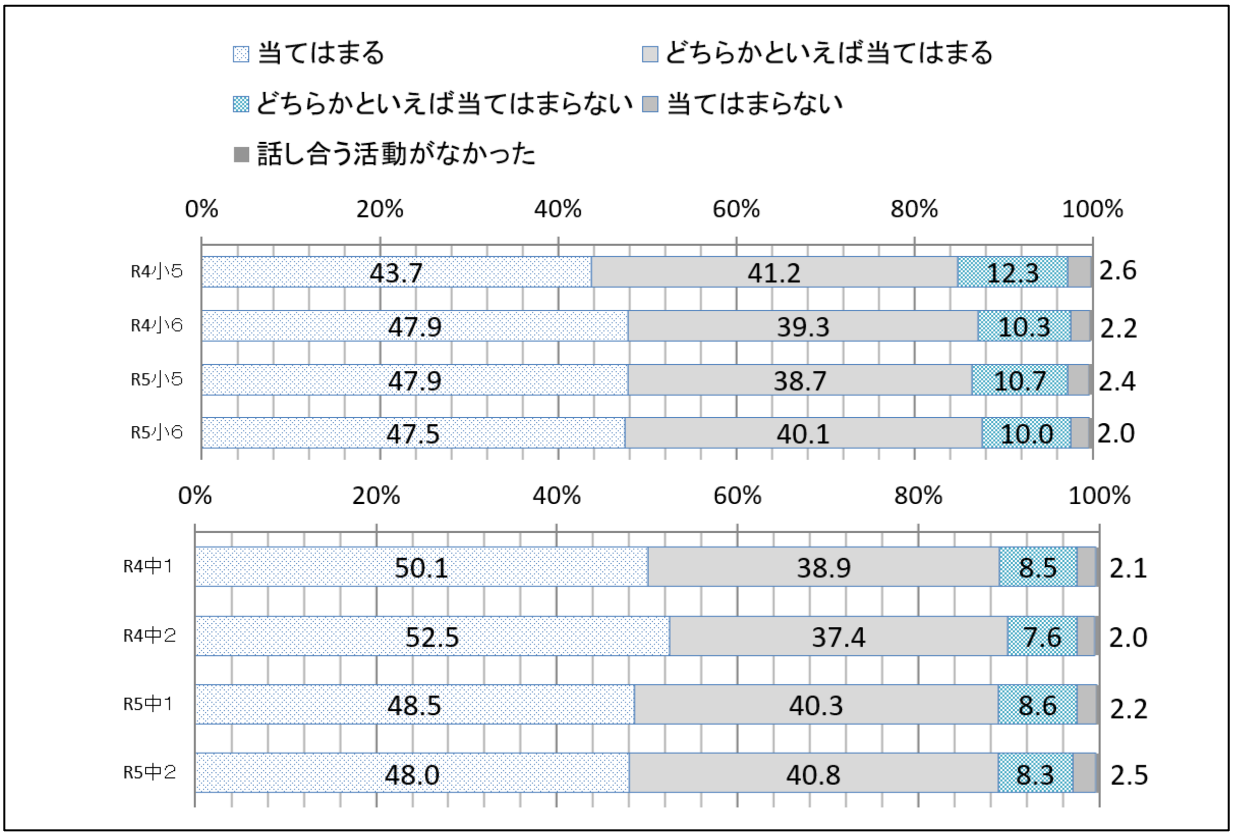
【令和４年度調査との比較】



【質問４】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。

△　肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校５年生は増加しているが、その他の学年は減少している。

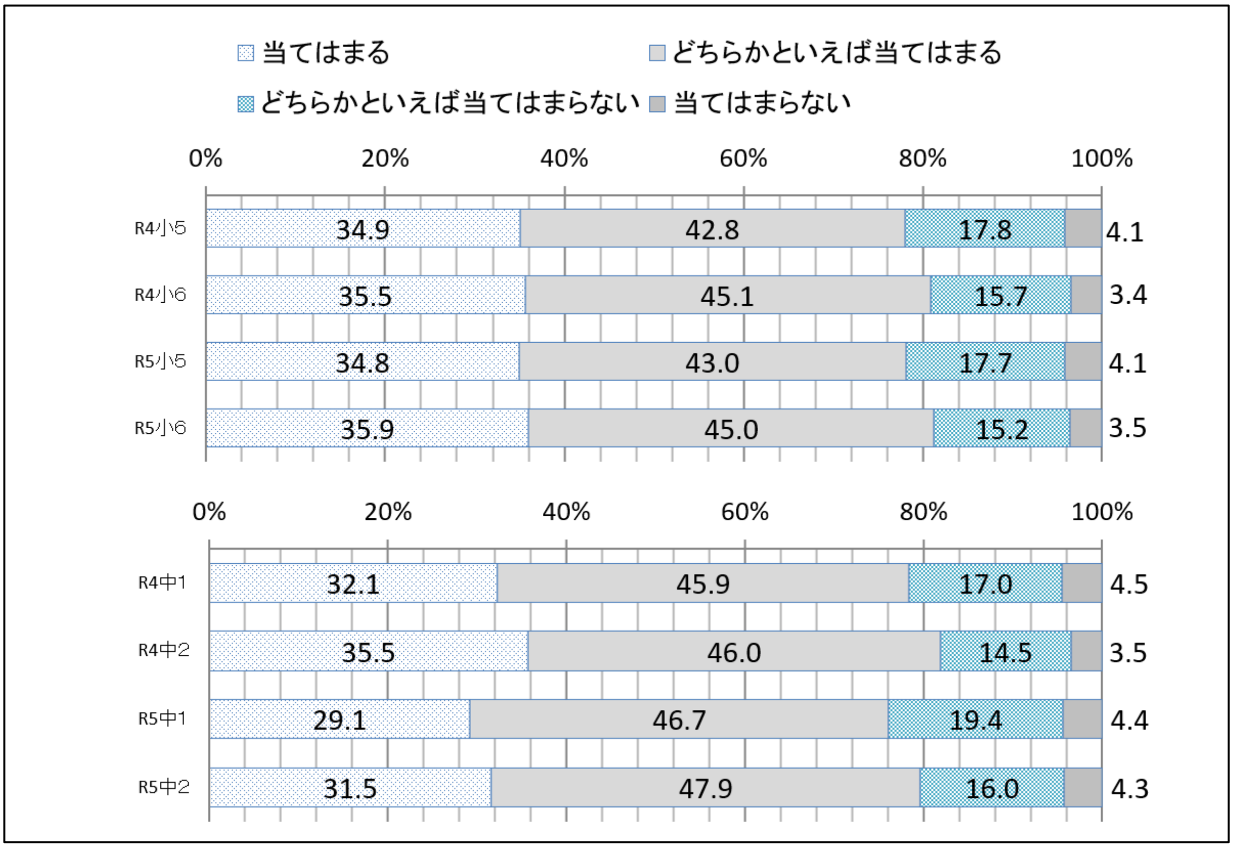
【令和４年度調査との比較】



【質問５】総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。

△　肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校では増加しているが、中学校では減少している。

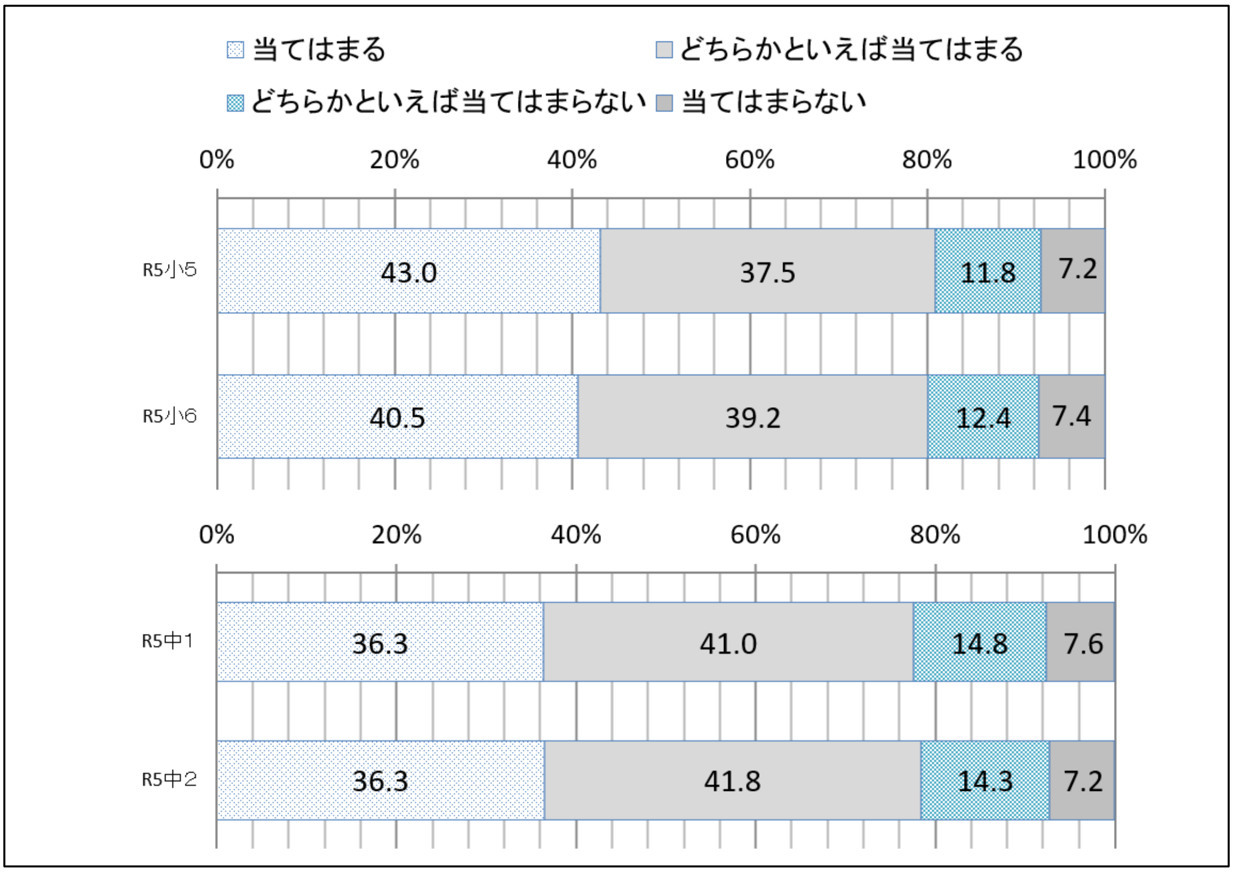
【令和４年度調査との比較】



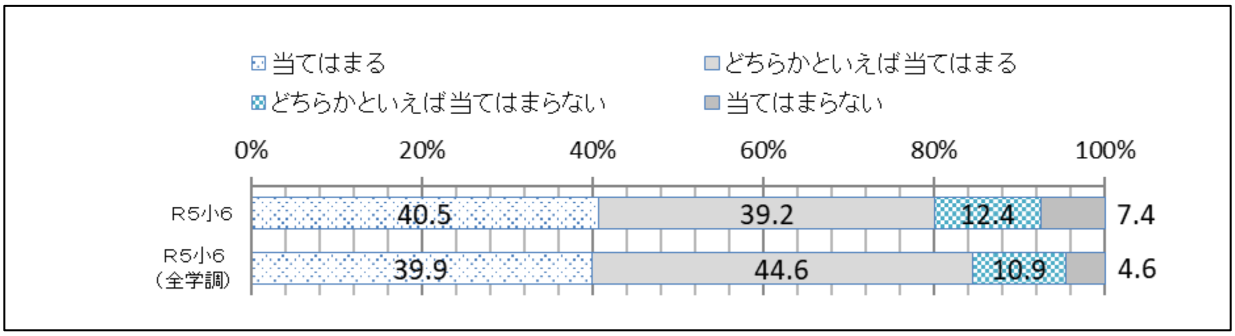
【質問６】自分には、よいところがあると思う。

● 肯定的な回答の割合を、小学校６年生の令和５年度全国学力学習状況調査と比較すると、減少している。

【今年度調査の結果】



【令和５年度全国学力学習状況調査との比較】



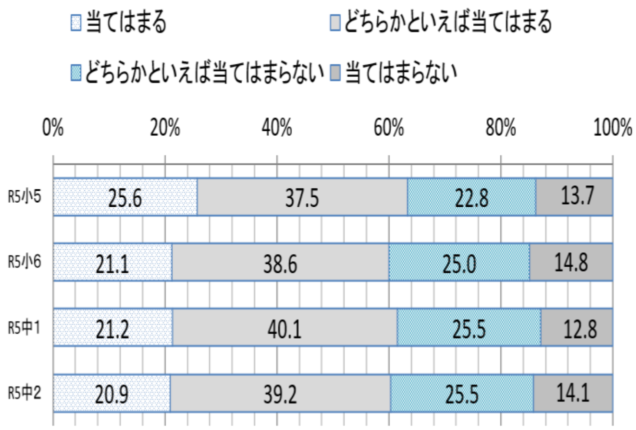
【質問７～１１】各教科の勉強が好きだ。

●　算数・数学科、理科、英語科において、学年が上がるにつれ、肯定的な回答の割合が減少している。

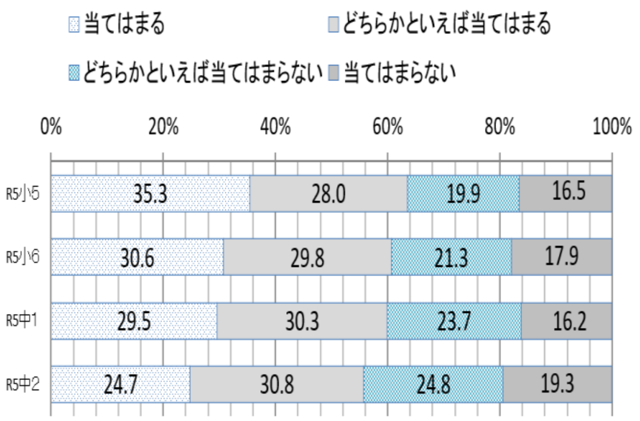
○　社会科においては、「当てはまる」と回答した小学校６年生の割合が高い。

【今年度調査の結果】

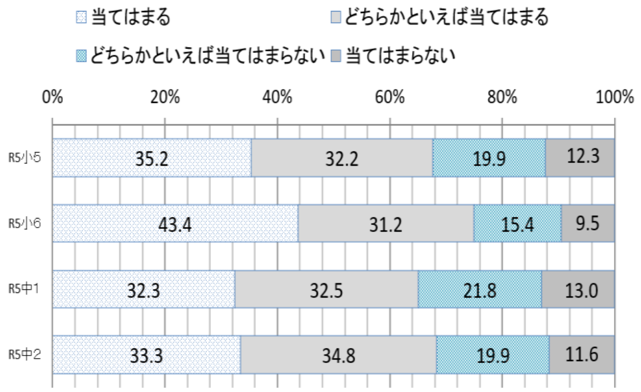
国語科



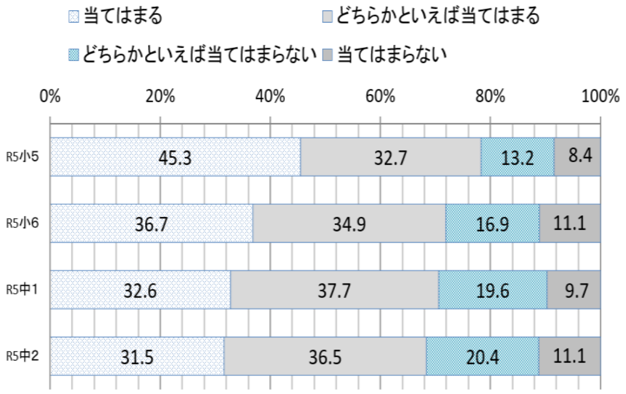
算数・数学科



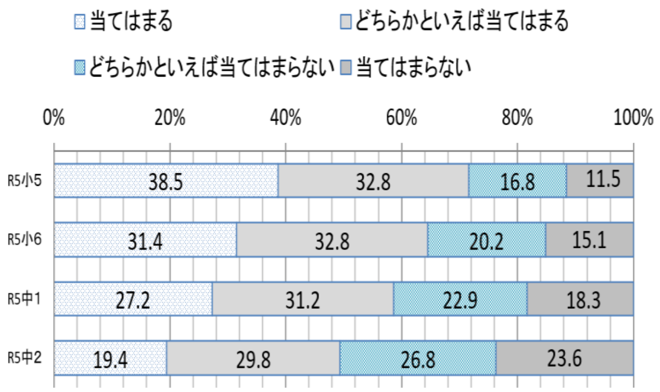
社会科



理科



英語科

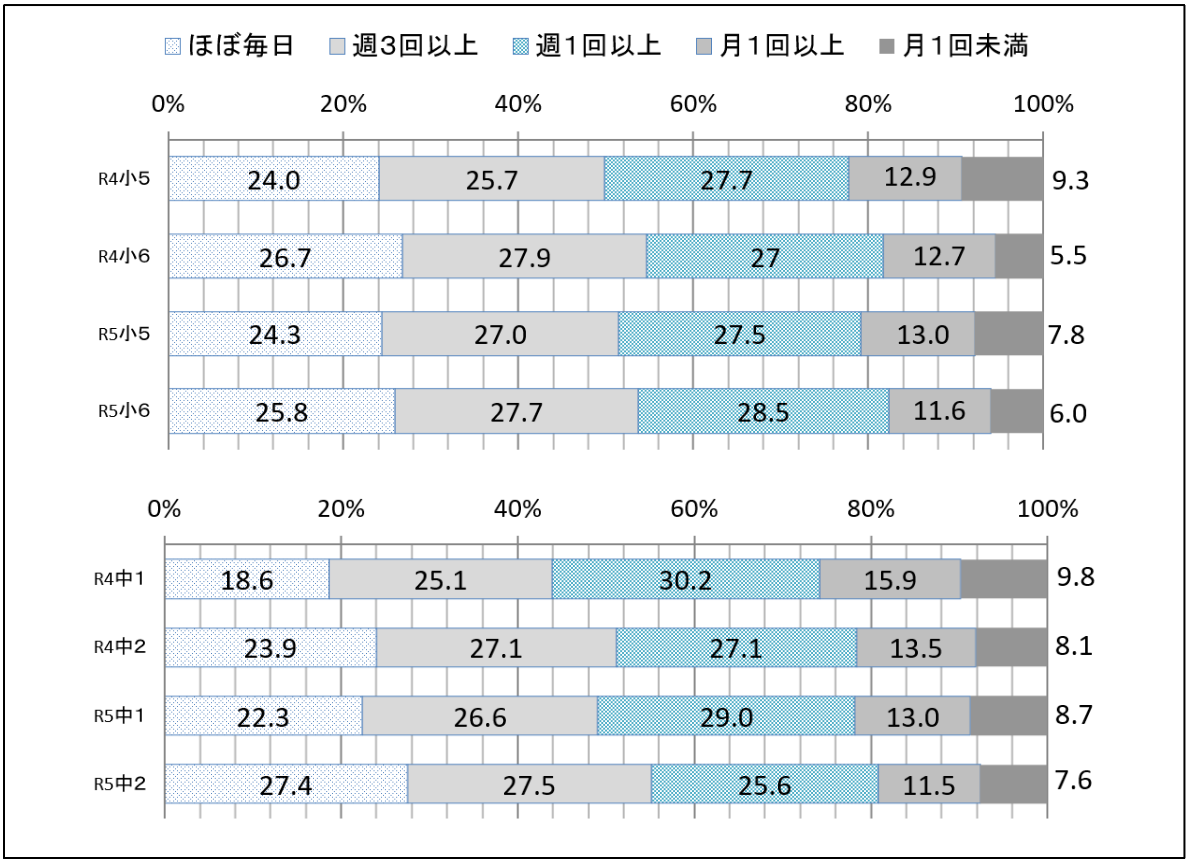


【質問１２】あなたは学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。

○　「週１回以上」と回答した割合は、全ての学年で 70％を上回っている。

△　「ほぼ毎日」と回答した割合は、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校６年生以外は増加している。

【令和４年度調査との比較】

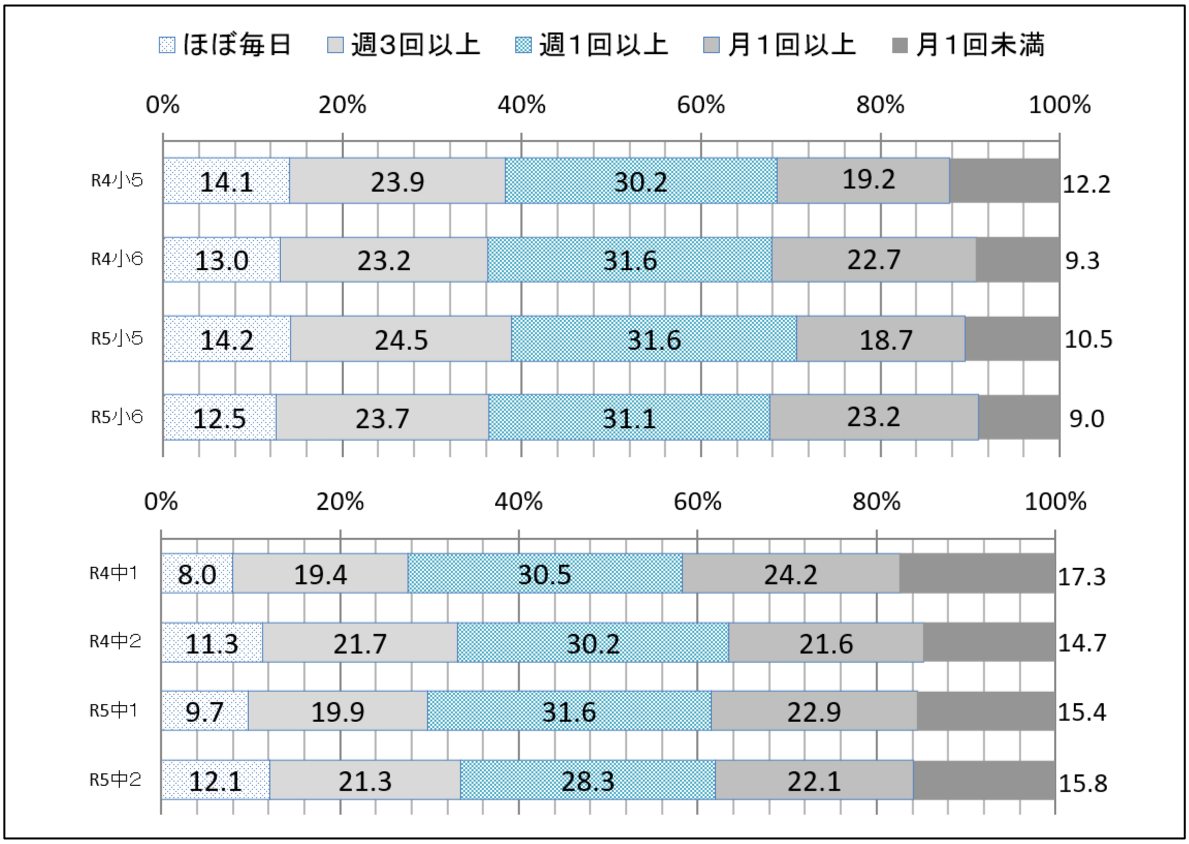


【質問１３】あなたは学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、自分の考えをまとめ、発表する場面で、どの程度使用していますか

○　「週１回以上」と回答した割合は、全ての学年で60%を上回っている。

△　「ほぼ毎日」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校６年生以外は、増加している。

【令和４年度調査との比較】

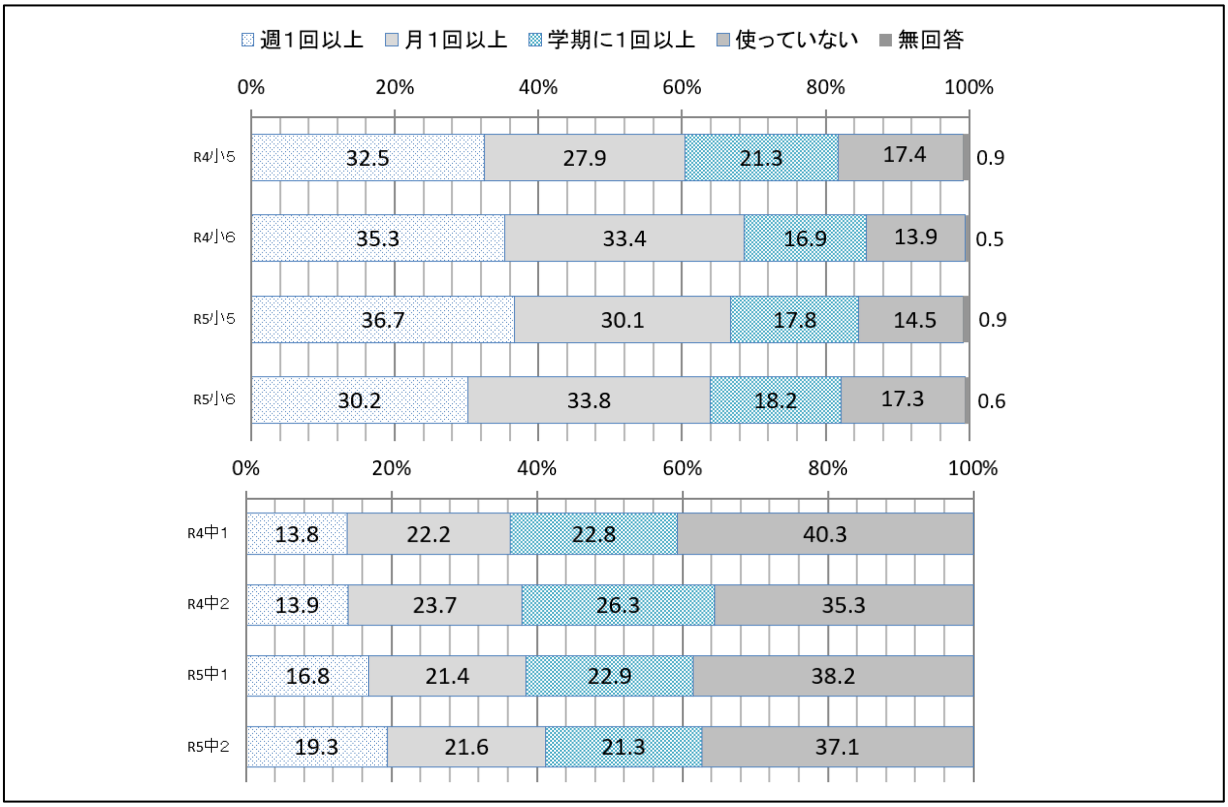


【質問１４】やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

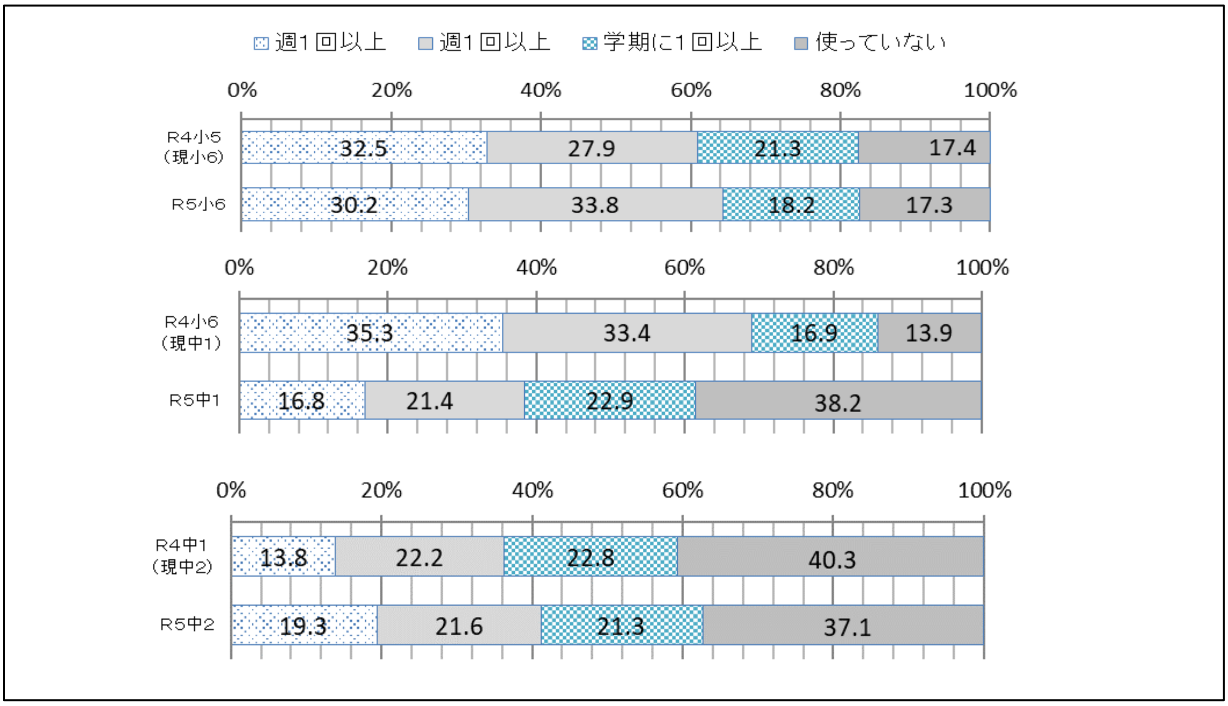
△　「週１回以上」と回答した割合は、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校６年生以外の学年で増加している。

●　同一の児童生徒集団で比較したとき、小学校から中学校への変わり目で肯定的な回答の割合が大きく減少している。

【令和４年度調査との比較】



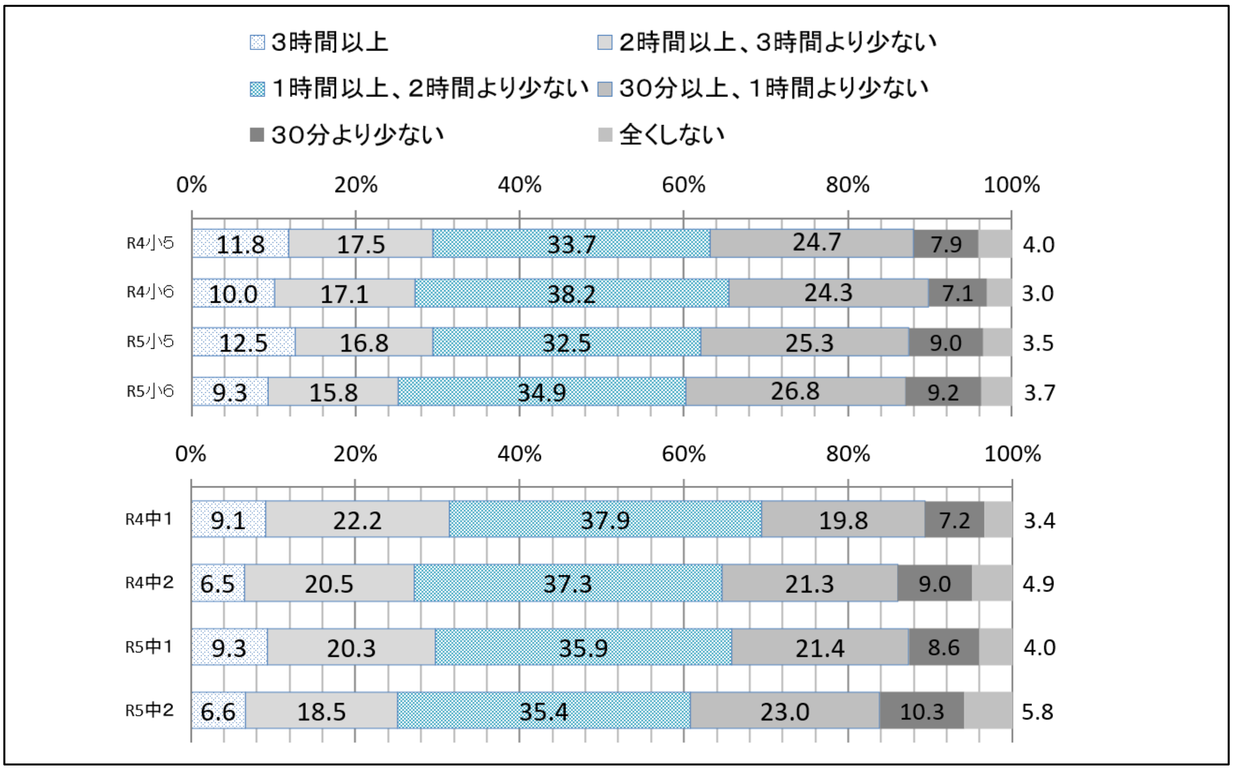
【同一の児童生徒集団で比較】



【質問１５】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。）

●　「３０分以上」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全学年で減少している。

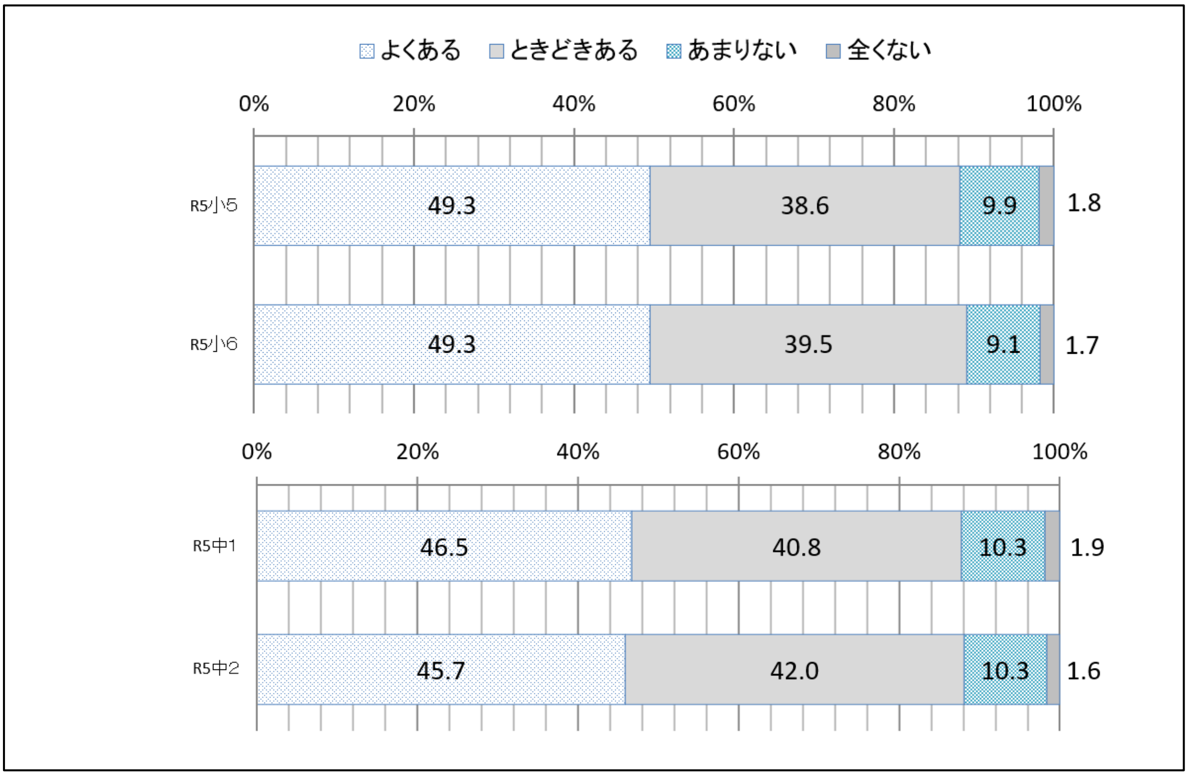
【令和４年度調査との比較】



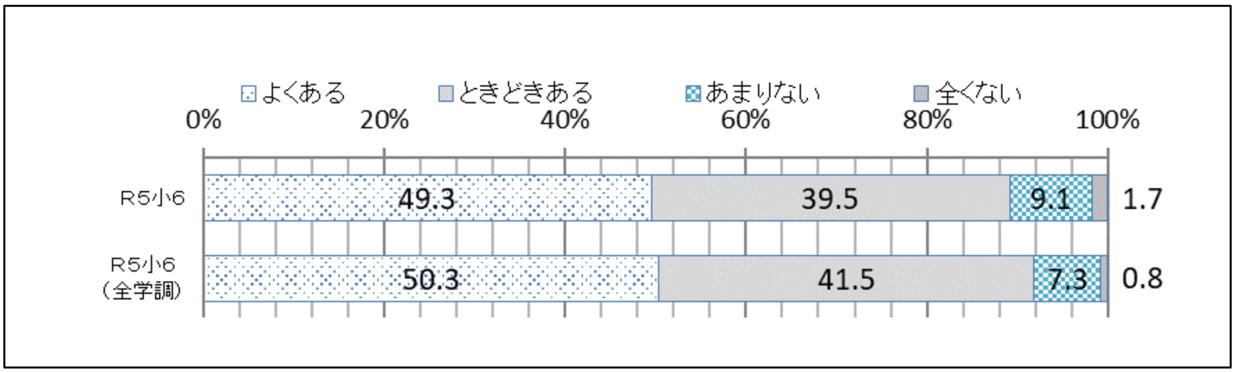
【質問１６】普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

△　肯定的な回答をした割合は、小学校も中学校もほとんど変わらない。

【今年度調査の結果】



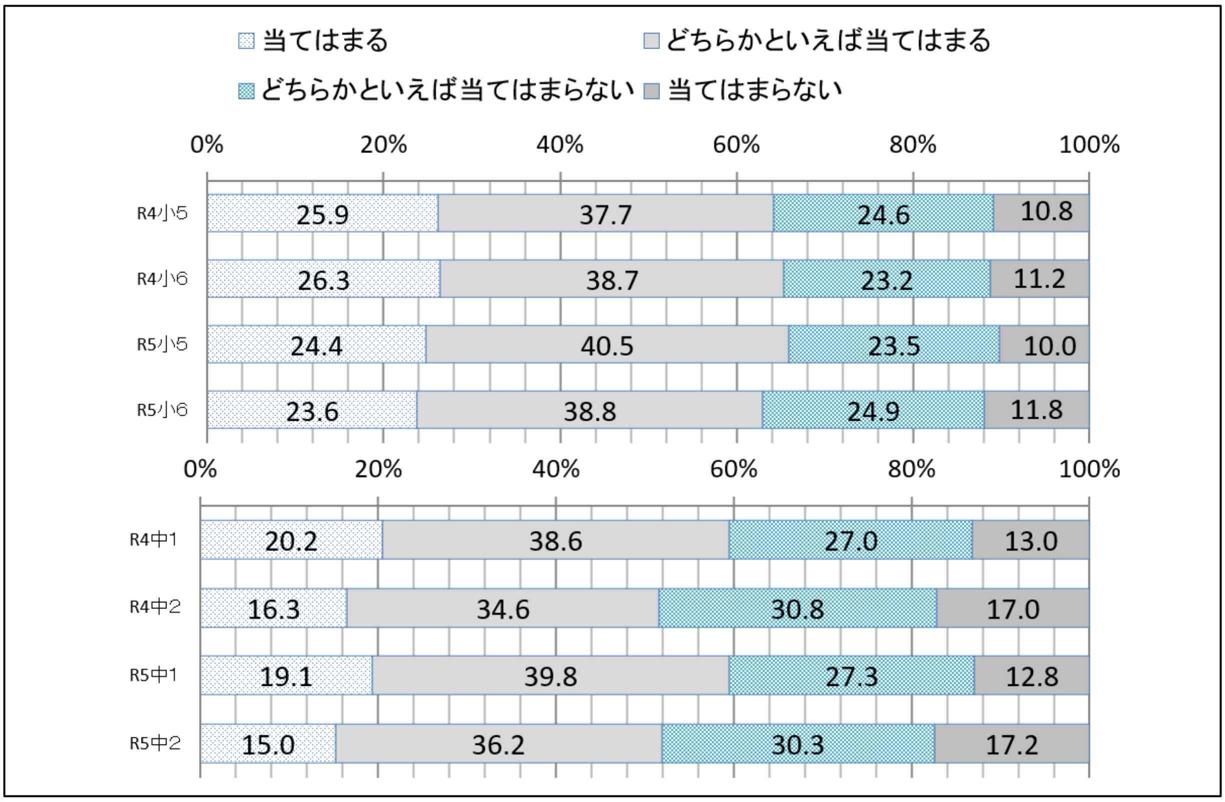
【令和５年度全国学力学習状況調査との比較】



【質問１７】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）。

● 「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全学年で減少している。

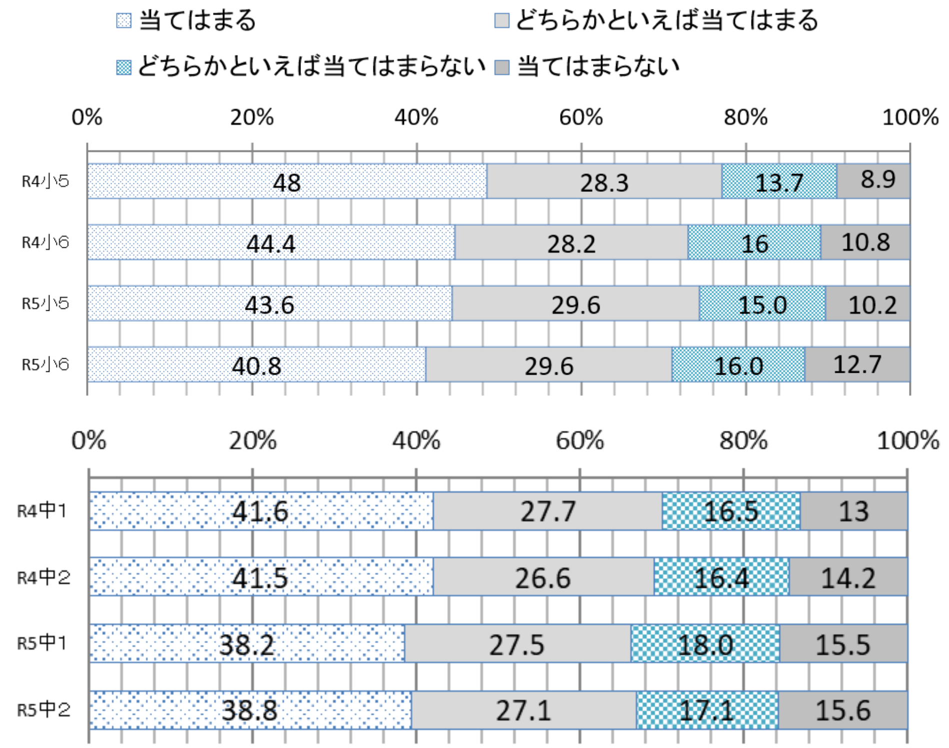
【今年度調査の結果】



【質問１８】読書は好きですか。

● 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。

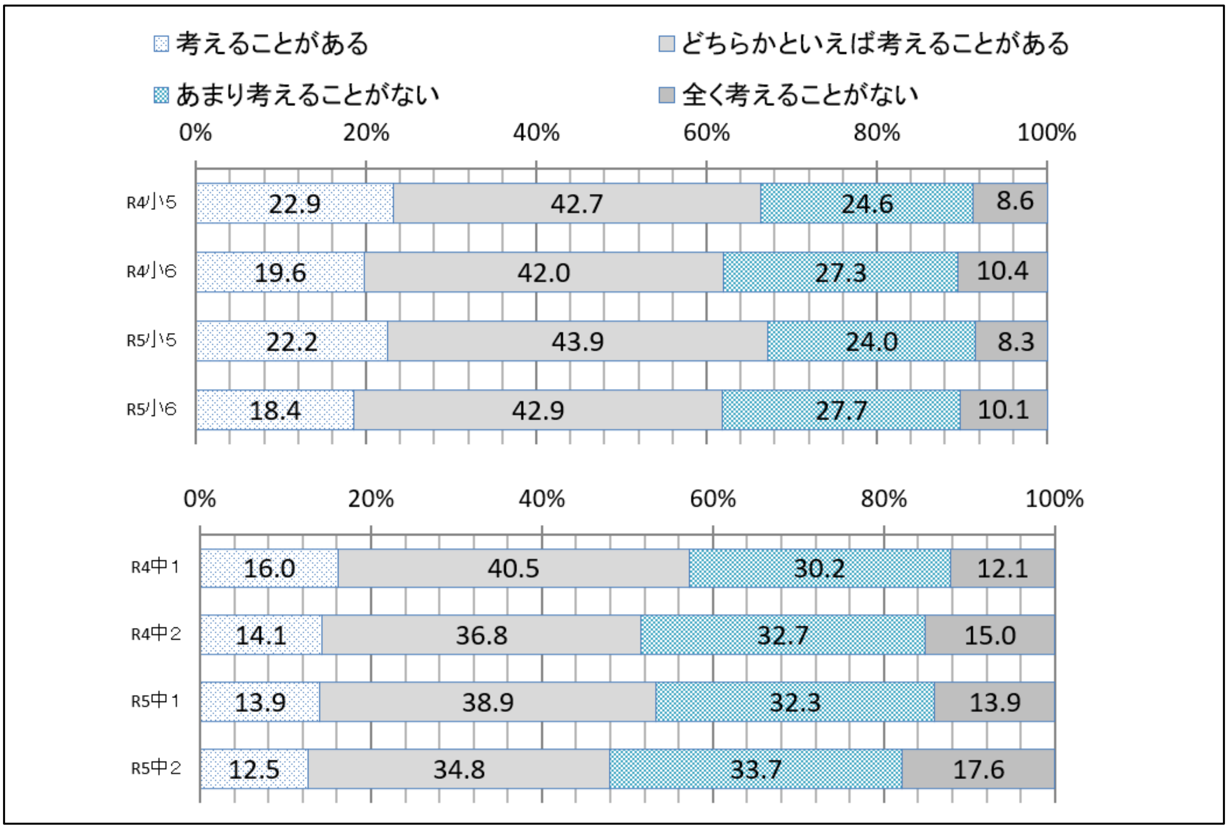
【令和４年度調査との比較】



【質問１９】地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

△　肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、小学校では増加しているが、中学校では減少している。

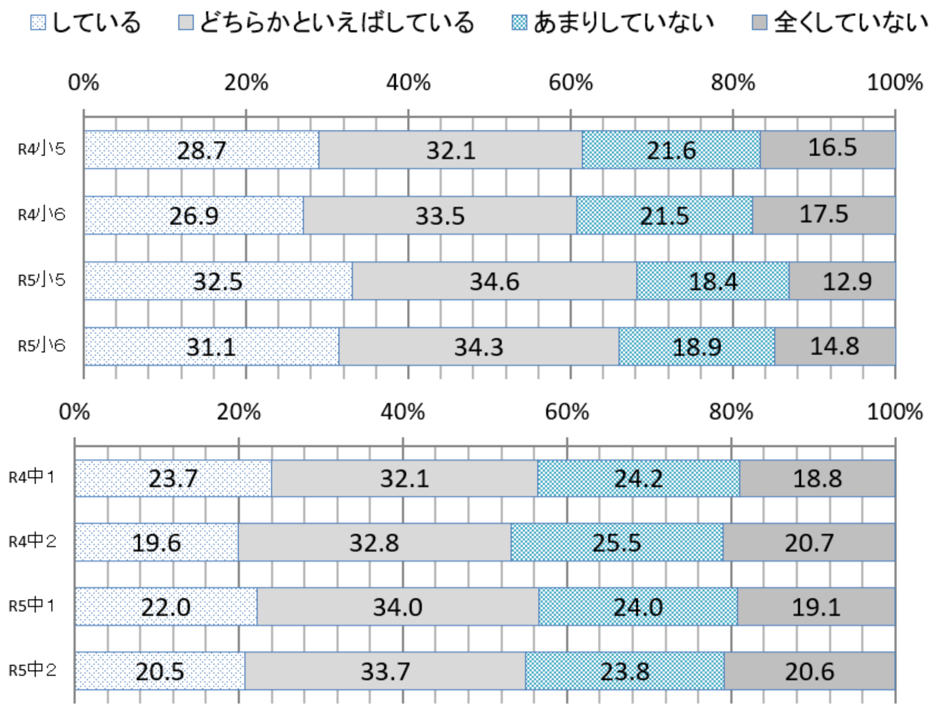
【令和４年度調査との比較】



【質問２０】今住んでいる地域の行事に参加していますか。

○　肯定的な回答をした割合は、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。

【今年度調査の結果】

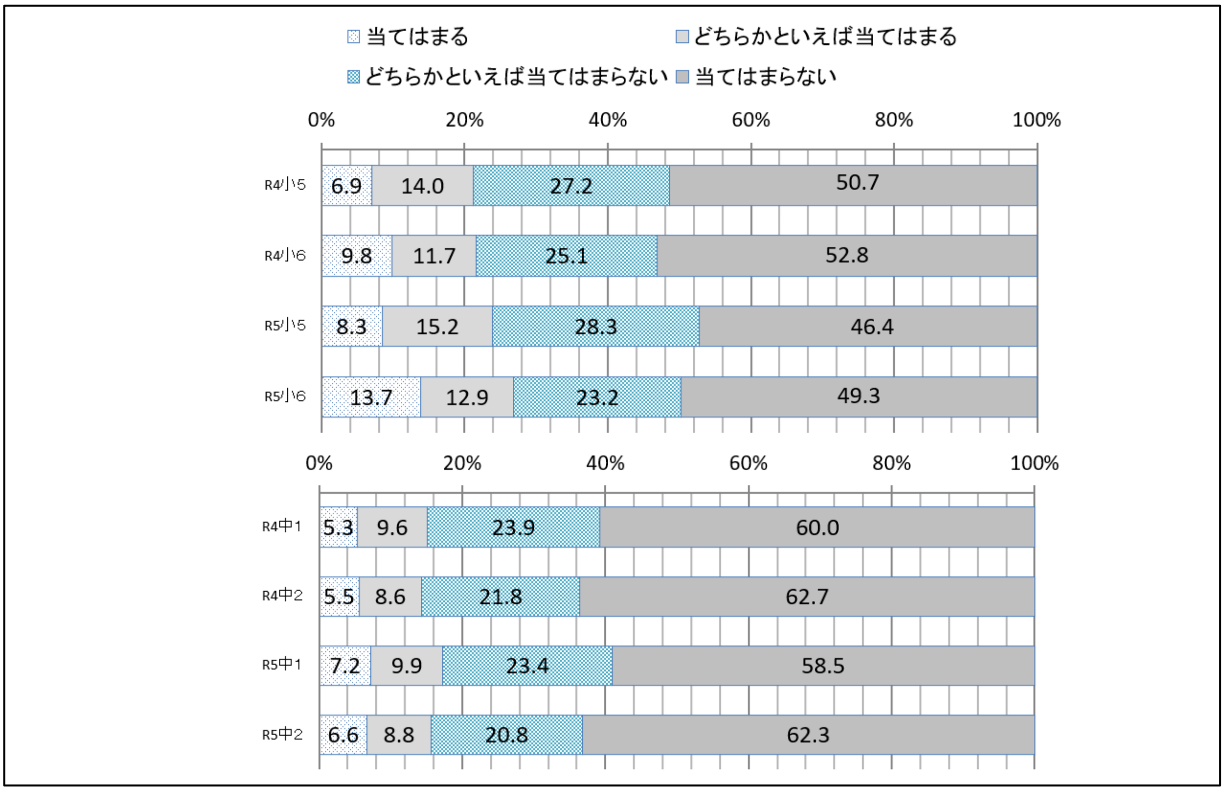


【質問２１】地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。

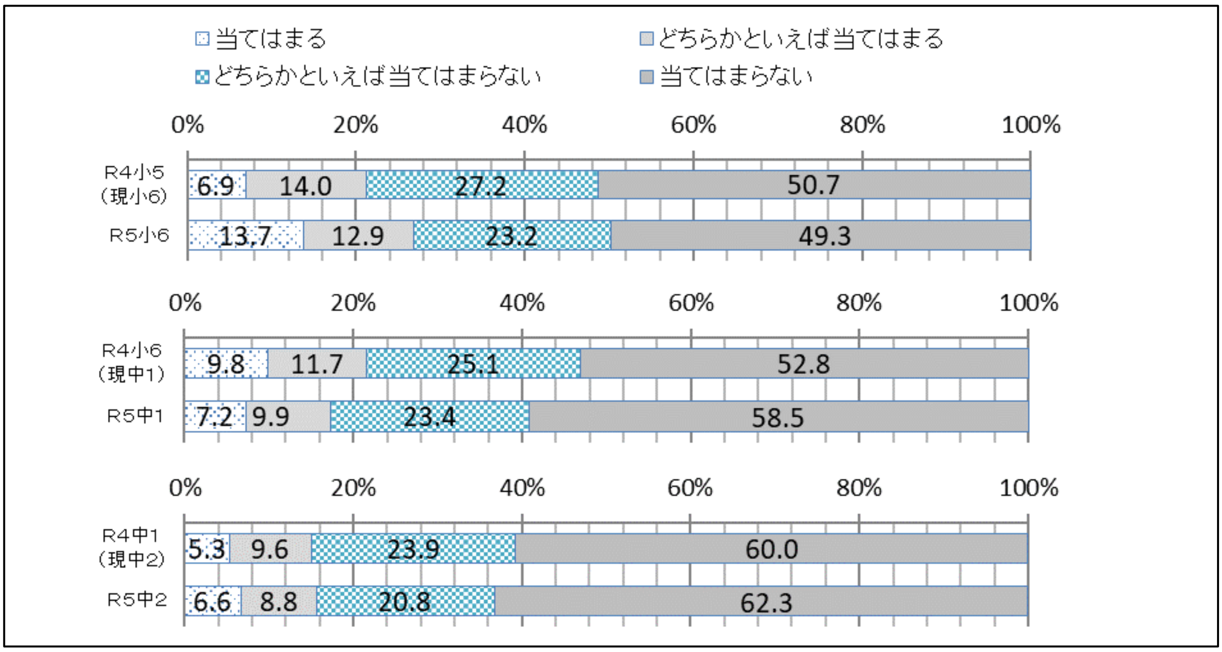
○　肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。

△　「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学校６年生と中学校２年生において増加している。

【令和４年度調査との比較】



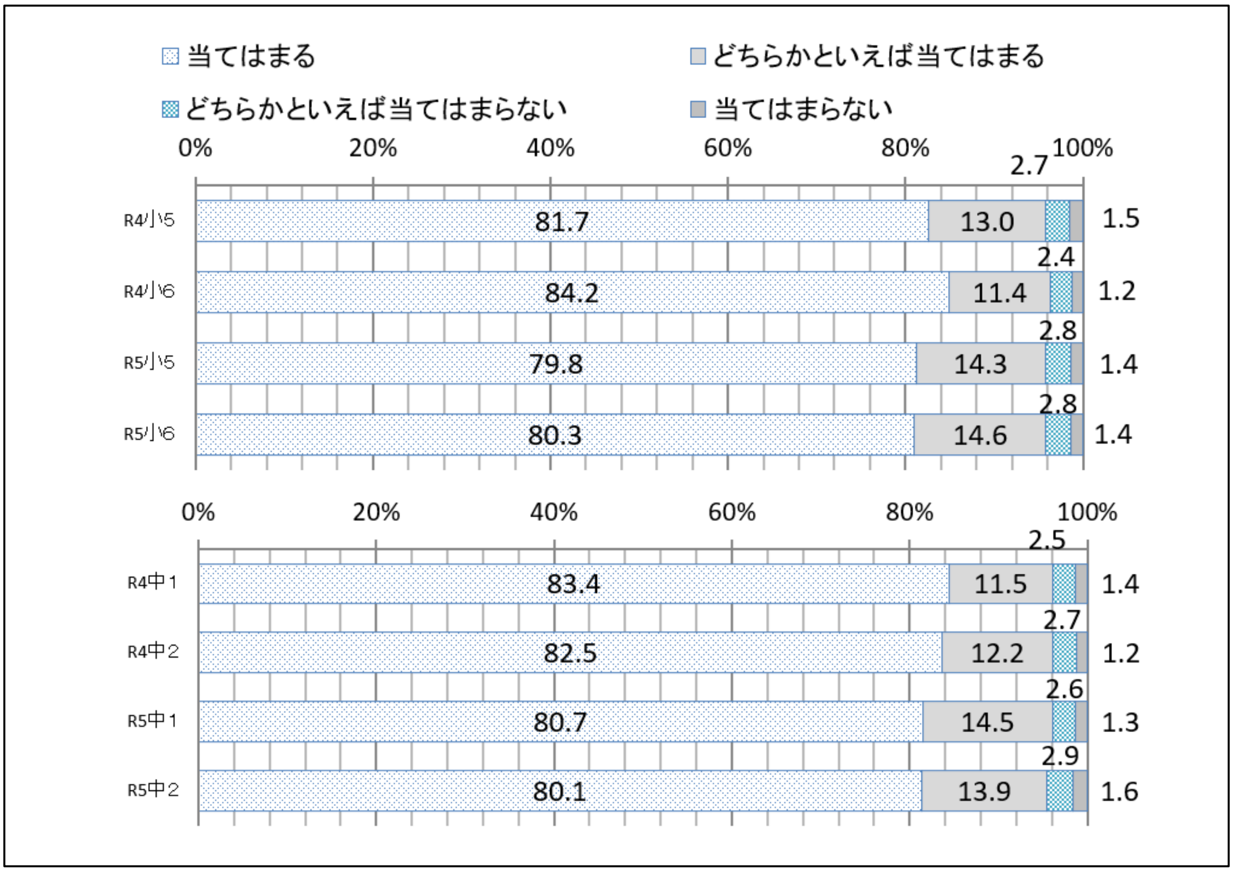
【同一の児童生徒集団で比較】



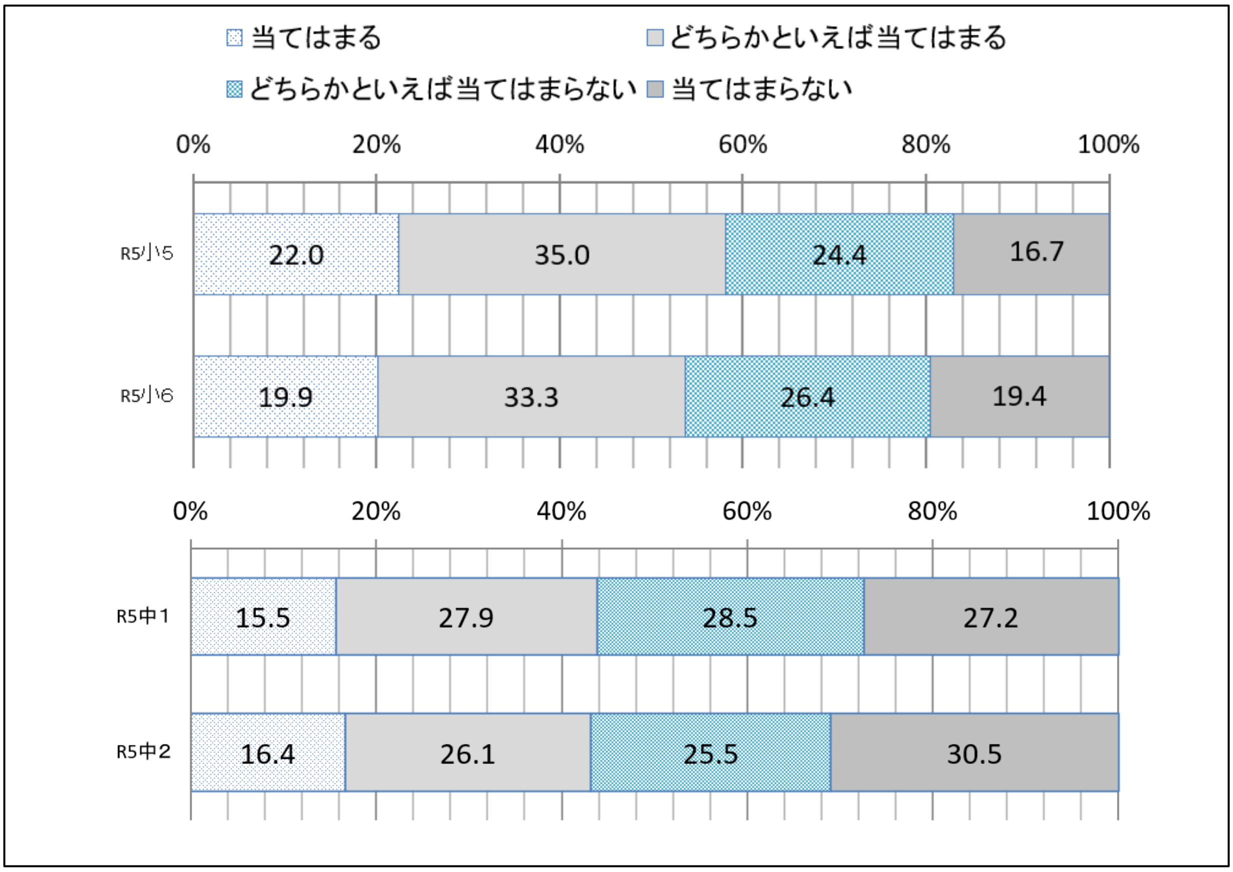
【質問２２】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

●　「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに一昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。

【令和４年度調査との比較】



【質問２３】あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。

△　肯定的な回答の割合が、小学校においては 50%を超えているが、中学校では超えていない。

【今年度調査の結果】